



brother

- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

SOREIL

ソレイユ

コンピュータマシン
ZZ3-B823

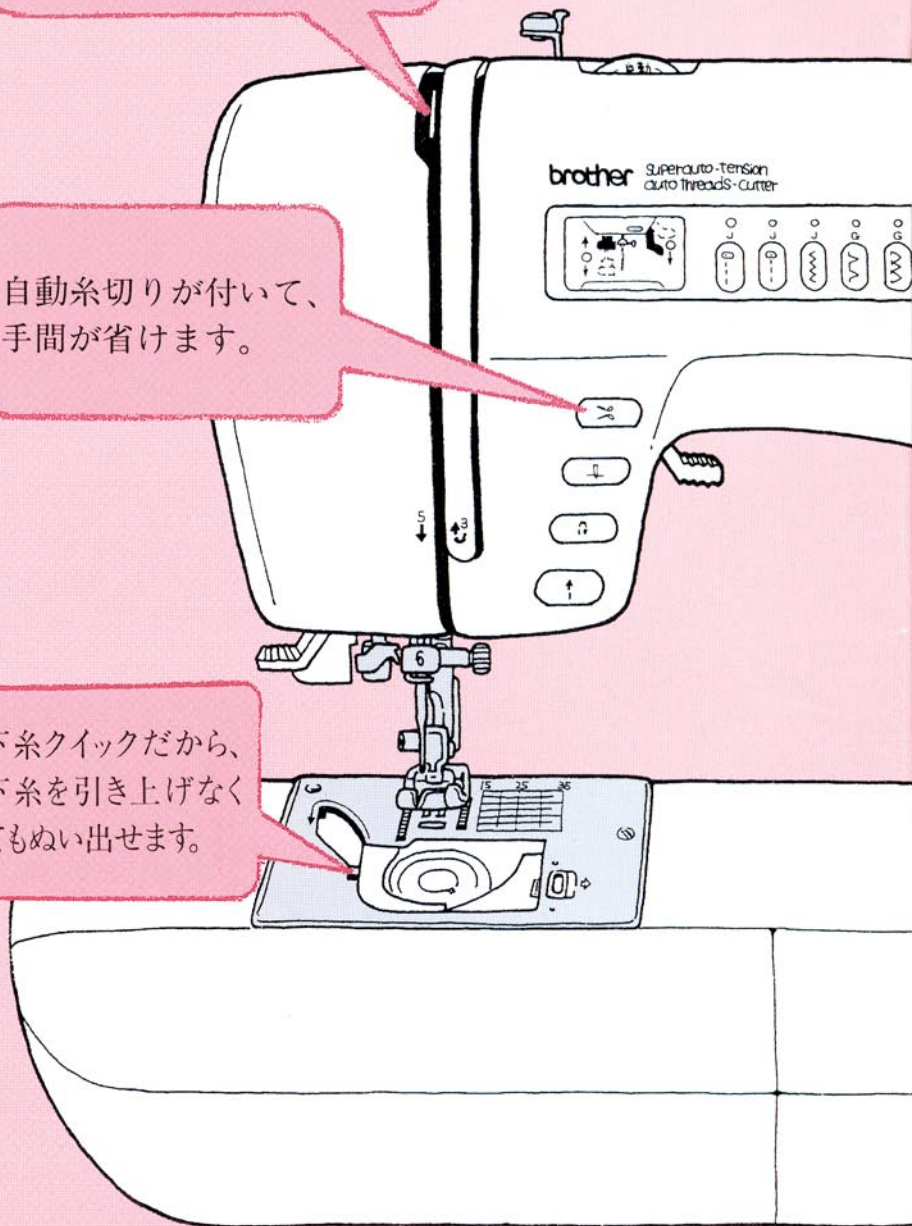
取扱説明書

ソレイユってこんなミシン。

自動糸調子だから厚地から薄地まで試しぬいなしでぬえます。

自動糸切りが付いて、手間が省けます。

下糸クイックだから、下糸を引き上げなくてもぬい出せます。



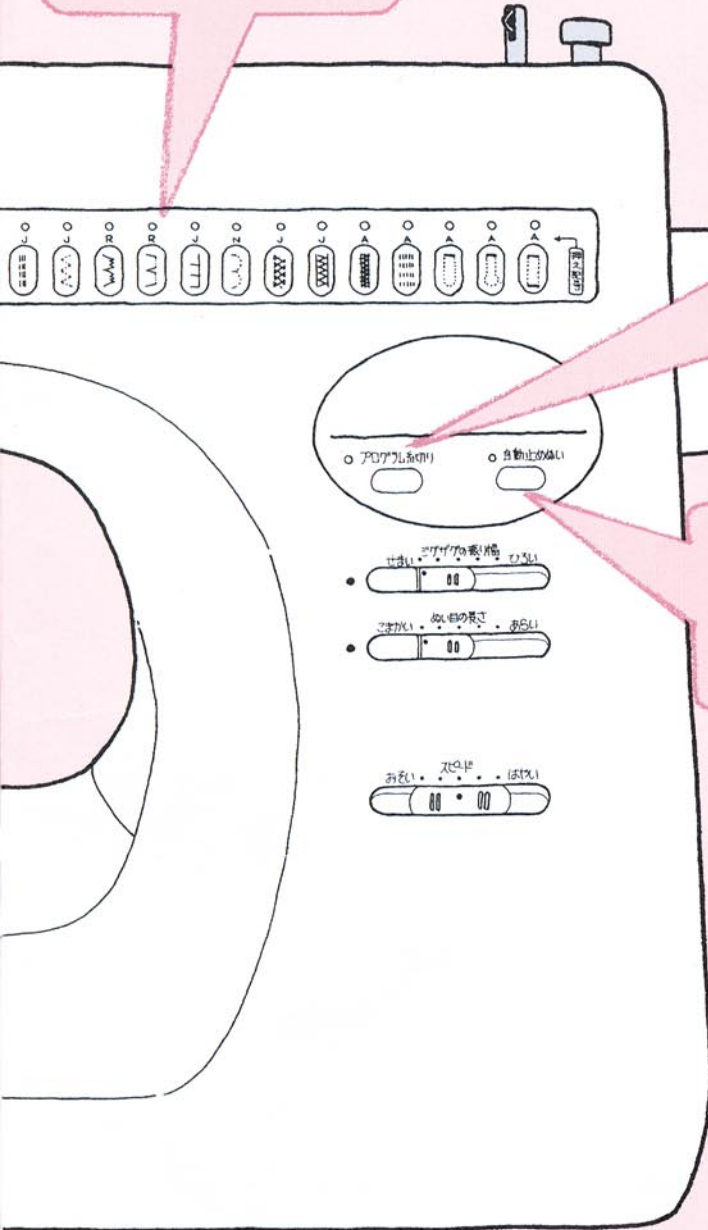
●ごあいさつ

お買い上げまことにありがとうございます。

この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。

お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

模様がダイレクト
に選択できます。



プログラム糸切りだから、
ぬい終わると自動的に糸
を切ります。

自動止めぬいだから、自動的
にぬい始めとぬい終わりのほ
つれ止めをします。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを守ってください。

⚠ 警告

- 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
 - 以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用した後
 - 運転中に停電したとき
- ※過熱や火災の原因となります。

⚠ 注意

火災・感電の原因となります。

- お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
- ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
- ミシンの換気用の穴やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
- ミシンの内部に異物をいれたり、ドライバーなどを差し込まないでください。
- ミシンに水などをこぼさないでください。
- スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を抜いている場所ではご使用にならないでください。
- 屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。
ミシンの使用温度は0°C~40°Cです。
- 以下の場合にはミシンのご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。
 - 電源コードまたは電源プラグが破損したとき
 - 正常に作動しないとき
 - 落下などにより破損したとき
 - ミシンが濡れたとき

傷害の原因となります。

- ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し注意を払ってください。
- 針の周辺で以下のことをするときは、必ず電源を切ってください。
 - 針を交換するとき
 - 押えを交換するとき
- 取扱説明書に記載のある整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンには正規の部品をご使用ください。
- 曲がった針はご使用にならないでください。
- 縫製中に布をむりに引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ミシンを移動するときは、取っ手を持って行ってください。
- ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が熱くなくなるまで待ってから行ってください。

このミシンは日本国内向け家庭用です。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

● 目次 ●

各部の名称とはたらき……………1～2

基本操作

| | |
|-------------------|-----|
| 下糸巻き/下糸セット…………… | 3～4 |
| 下糸のセットのしかた…………… | 4 |
| 上糸通し…………… | 5～6 |
| ぬってみましょう…………… | 7～8 |
| 模様の選び方…………… | 8 |
| 模様一覧…………… | 8 |
| 振り幅、ぬい目の長さ調節…………… | 9 |
| 糸調子の合わせ方…………… | 10 |
| 押え交換…………… | 11 |
| 針交換…………… | 12 |
| プログラム糸切り…………… | 13 |
| 自動止めぬい…………… | 14 |

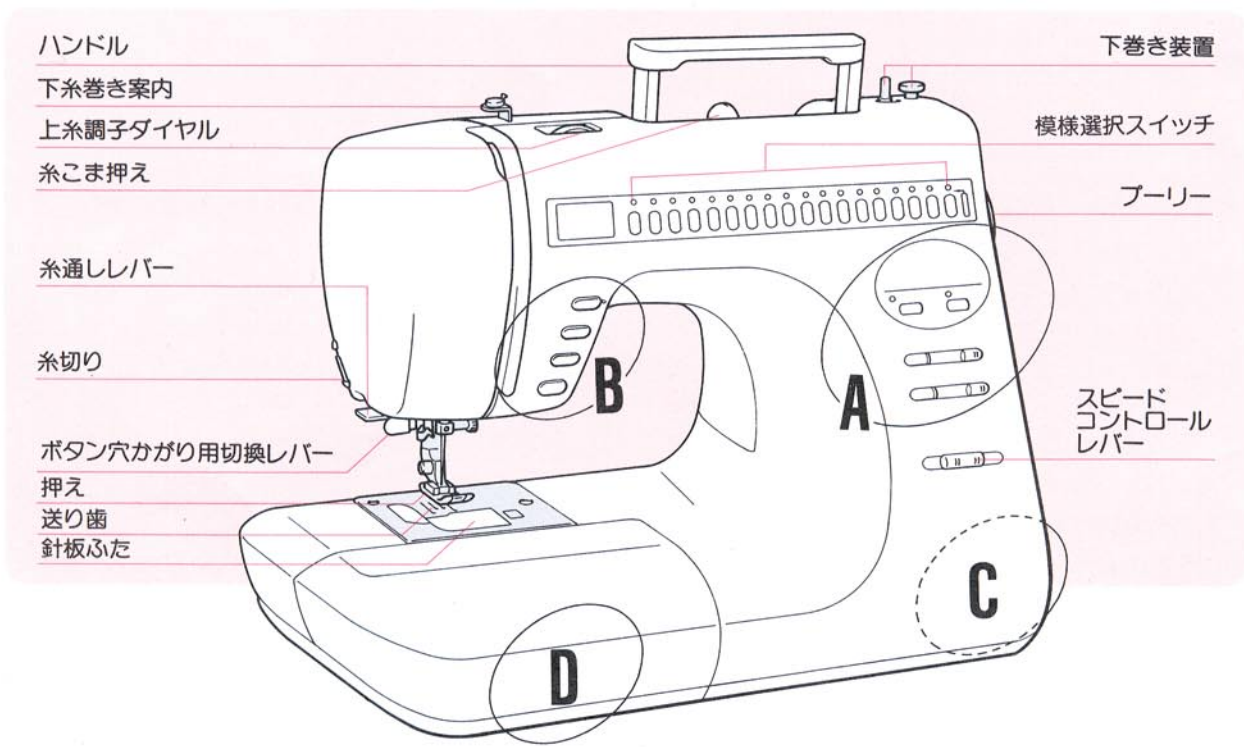
実用ぬい

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 覚えておくと便利…………… | 15～16 |
| ■厚地のぬい方 ■段ぬい | |
| ■薄地のぬい方 ■カーブぬい | |
| ■伸びる布のぬい方 ■針板の使い方 | |
| ■角ぬい ■フリーアーム | |
| 直線・三重ぬい…………… | 17 |
| ファスナーつけ…………… | 18 |
| ジグザグ…………… | 19 |
| たちめかがり・点線ジグザグ…………… | 20 |
| まつりぬい…………… | 21 |
| アップリケ…………… | 22 |
| スカラップ…………… | 23 |
| 飾りぬい（ファゴティング）つき合わせ…………… | 24 |
| かんどめ…………… | 25 |
| ダーニング…………… | 26 |
| ボタン穴かがり…………… | 27～28 |

その他

| | |
|----------------------|-------|
| ランプの交換…………… | 29 |
| お手入れ…………… | 30 |
| ぬい方早見表…………… | 31 |
| エラー/メッセージ表示・電子音…………… | 32 |
| トラブルチェック…………… | 33～34 |

各部の名称とはたらき



C

ランプスイッチ
 電源スイッチ
 フットコントローラー用ジャック
 赤印

電源 100V
 ランプ 入 一切

※電源コードの赤印以上は引き出さないでください。
 ※電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから離してください。

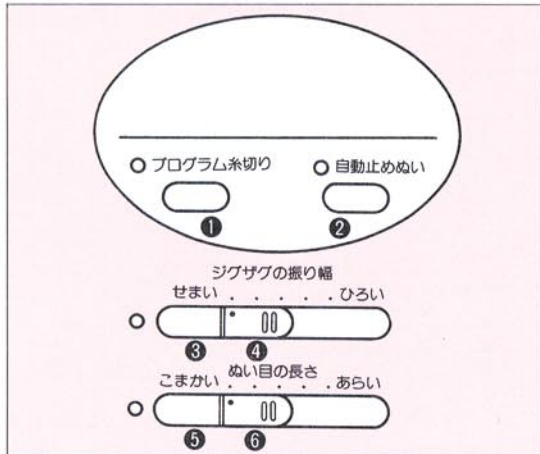
D 収納補助テーブル

① ボタン穴かがり押え(A)
 ② 片押え(L)
 ③ ジグザグ押え(J)収納位置
 ④ 模様ぬい押え(N)
 ⑤ まつりぬい押え(R)
 ⑥ 裁ち目かがり押え(G)
 ⑦ ボビン
 ⑧ ミシン針
 ⑨ リッパー
 ⑩ ドライバー

押え記号
 押え記号
 ※押えには押え記号が付いています。

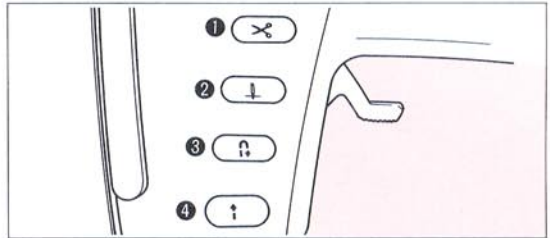
※ボビンは、専用ボビン(部品コードX80309-001)です。
 ※付属品は、必ず専用付属品をご使用ください。
 ★印は空スペースです。付属部品などはありません。

A 選択キー



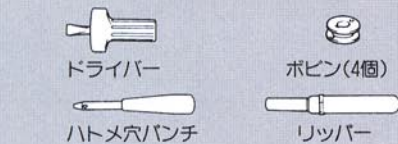
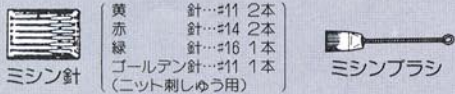
- ① プログラム糸切りスイッチ
模様のぬい終わりで自動的に糸を切るときに用います。
- ② 自動止めぬいスイッチ
ぬい始めとぬい終わりで自動的にほつれ止めをするときに用います。
- ③ ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ
ジグザグの振り幅を変えたいときに用います。
- ④ ジグザグの振り幅調節レバー
ジグザグの振り幅（模様の幅）または針位置を調節するときに用います。
- ⑤ ぬい目の長さマニュアルスイッチ
ぬい目の長さを変えたいときに用います。
- ⑥ ぬい目の長さ調節レバー
ぬい目の長さを調節するときに用います。

B 操作スイッチ



- ① 糸切りスイッチ
上糸、下糸を自動的に切ります。
- ② 針上下スイッチ
針の位置が上下に切り換わります。
※ 繰り返し押しすと1針ぬいができます。
- ③ 返しぬいスイッチ
スイッチを押している間は返しぬい(止めぬい)を低速で行います。
返しぬい……逆方向にぬいます。
止めぬい……同じ場所で3針ぬって自動停止します。
※ フットコントローラー使用時は、低速にはなりません。
- ④ スタート/ストップスイッチ
スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。
※ スイッチを押している間は、低速でぬいます。
※ ミシンを停止させると針は下位置で止まります。
※ フットコントローラー使用時は、スイッチを押してもミシンは動きません。

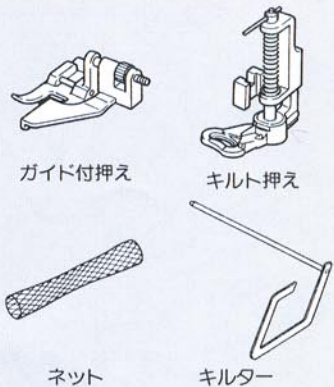
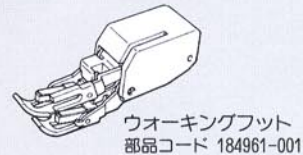
付属品



糸こまえ押え(大)
※糸こまえ押え(小)は、ミシンの糸たて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

〈キルトクラブ専用付属品〉

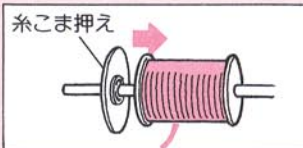
●キルトクラブ以外は別売り



下糸巻き/下糸セット

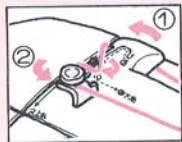
下糸巻き案内に順序よく

2 糸こまを糸が手前から出るようにセットします。



※糸こま押えは、奥までいっぱい差し込んでください。

3 下糸巻き案内に。



7 スタート。巻き終わるとボビンの回転は止まります。ストップしてください。

6 スピードコントロールレバーを“はやい”方に。

8 下糸を巻き終わったボビンをセット。

▷ご注意

- ・下糸巻き中、模様選択スイッチ、返しぬいスイッチ、針上下スイッチ、糸切りスイッチを押すとミシンは停止します。
- ・フットコントローラー使用時の下糸巻きのスタート・ストップは、フットコントローラーで行ってください。

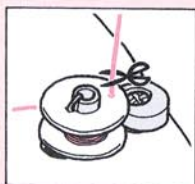
糸をかけます。

ボビンの穴に糸を通し、ボビンを軸にセットし、右へ。巻き終わったら左へもどします。



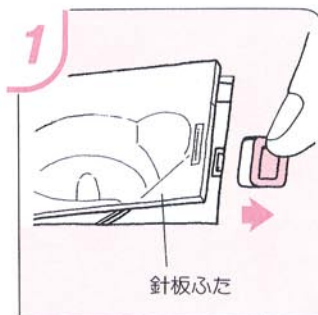
※みぞと下糸巻き軸ばねを合わせます。

糸端を持ち、スタート/ストップスイッチを押し少し巻いたら、ミシンをいったん止めて糸端を切ります。

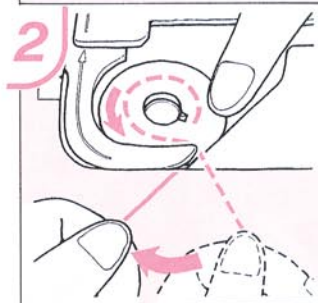


1 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

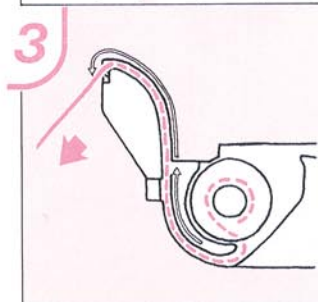
下糸のセットのしかた



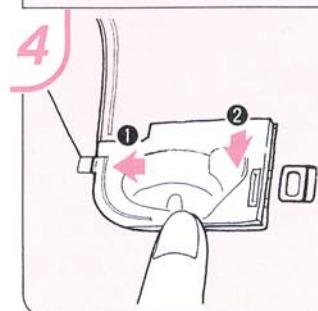
針板ふたをはずします。



矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットします。
※専用ボビンをお使いください。
〔部品コード：X80309-001〕
ボビンが5個セットになっています。



糸端を持ち、ミソにそって糸を引き出しながら通し、手前に引き、糸を切ります。

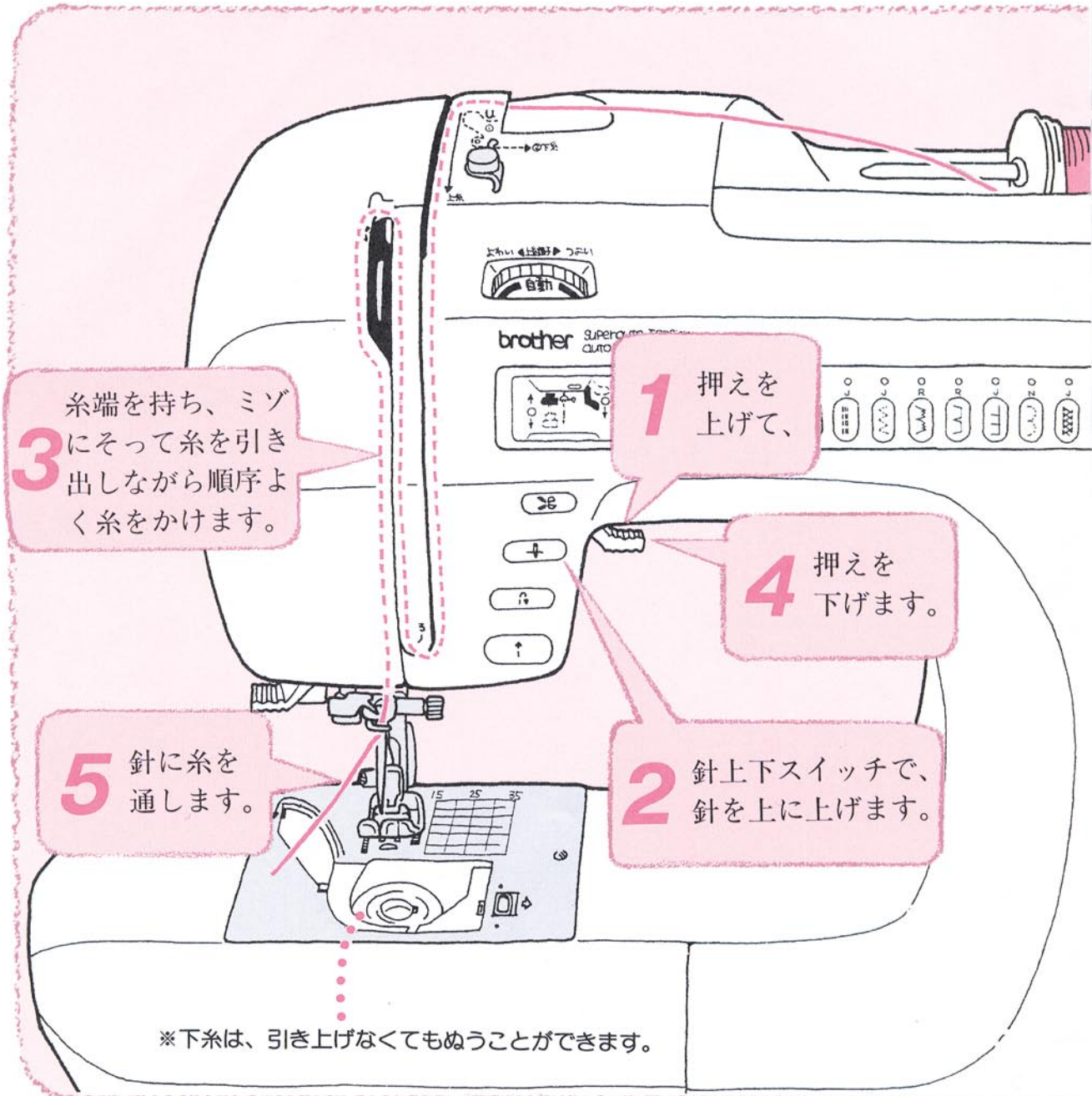


針板ふたをセットします。

※下糸を引き上げなくても、そのままぬい出せます。

上糸通し

番号と矢印に従って糸を



3 糸端を持ち、ミゾにそって糸を引き出しながら順序よく糸をかけます。

1 押えを上げて、

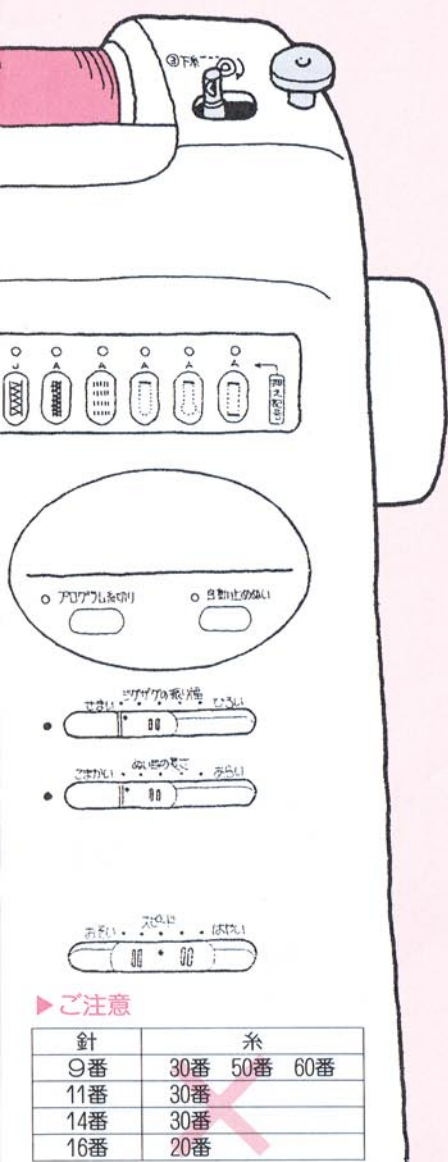
4 押えを下げます。

2 針上下スイッチで、針を上に出します。

5 針に糸を通します。

※下糸は、引き上げなくてもぬうことができます。

かけます。

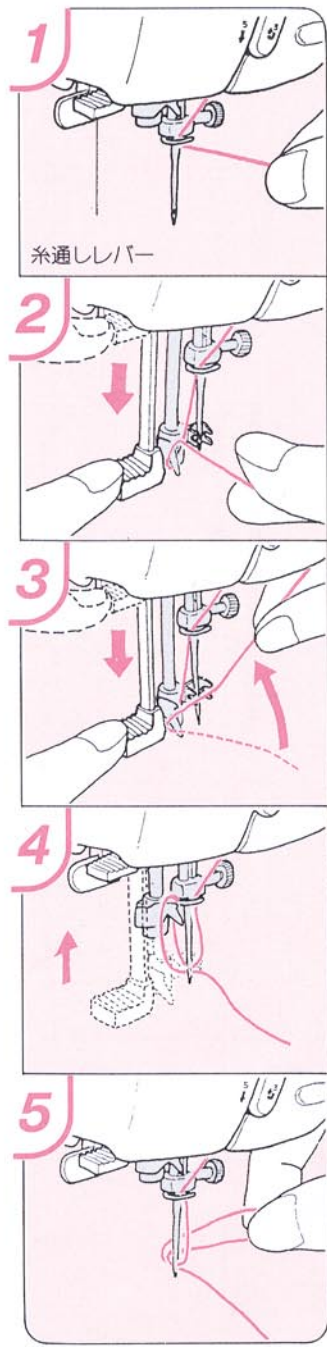


▶ご注意

| 針 | 糸 |
|-----|-------------|
| 9番 | 30番 50番 60番 |
| 11番 | 30番 |
| 14番 | 30番 |
| 16番 | 20番 |

糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは上記の通りです。なお、ナイロン透明糸は上記に関係なく、ミシン針14~16番の範囲内でご使用ください。

糸通し装置で針に糸を通します。



糸を手前に軽く引きます。

糸通しレバーを下まで下げ、糸がガイドにかかっていることを確認して、針穴にフックが通った状態にします。

糸をフックにかけます。
・糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。

糸を軽く持ちながら糸通しレバーを上げます。

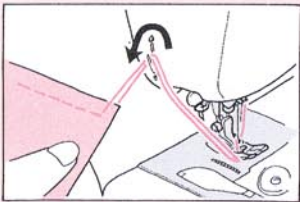
上糸をうしろへ引き出します。

ぬってみましょう

布地を入れてぬってみま

4 糸を切ります。

※太い糸(30番以下)や特殊な糸は、図のようにして、糸を切ってください。



電源を入れると〈直線(左基線)〉が選択されます。

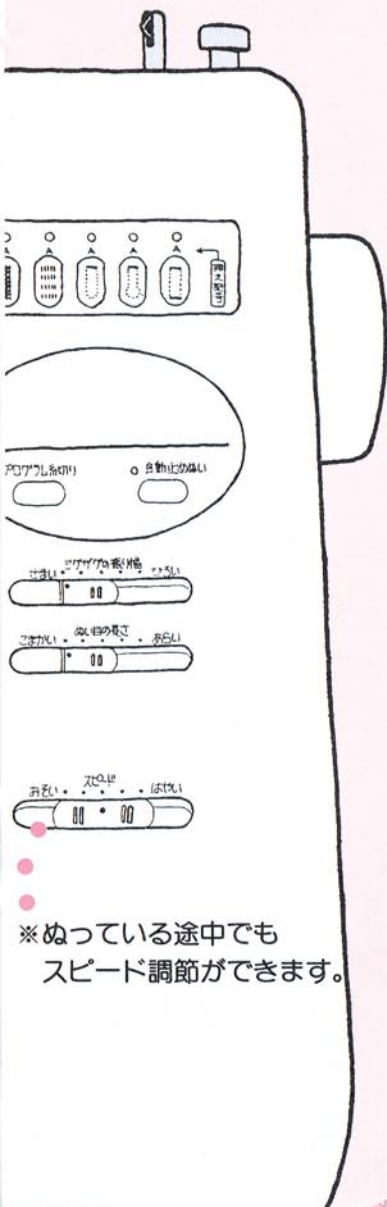
2 押えを下げます。

3 スタート。 ぬい終わったら ストップ。

※ぬい始めと終わりは、返しぬいでほつれ止めを。

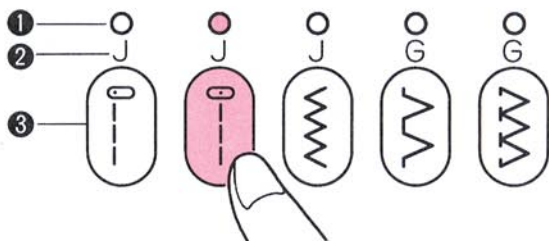
1 布地を セットし、

しょう。



※ぬっている途中でも
スピード調節ができます。

模様を選び方



ぬいたい模様を直接押します。

- 〈表示〉
- ① ランプの点灯している模様が、選択されています。
 - ② 押え記号
(この記号の押えに取り替えます。)
 - ③ 模様記号
- ※電源を入れると、直線(左基線)が選択されます。

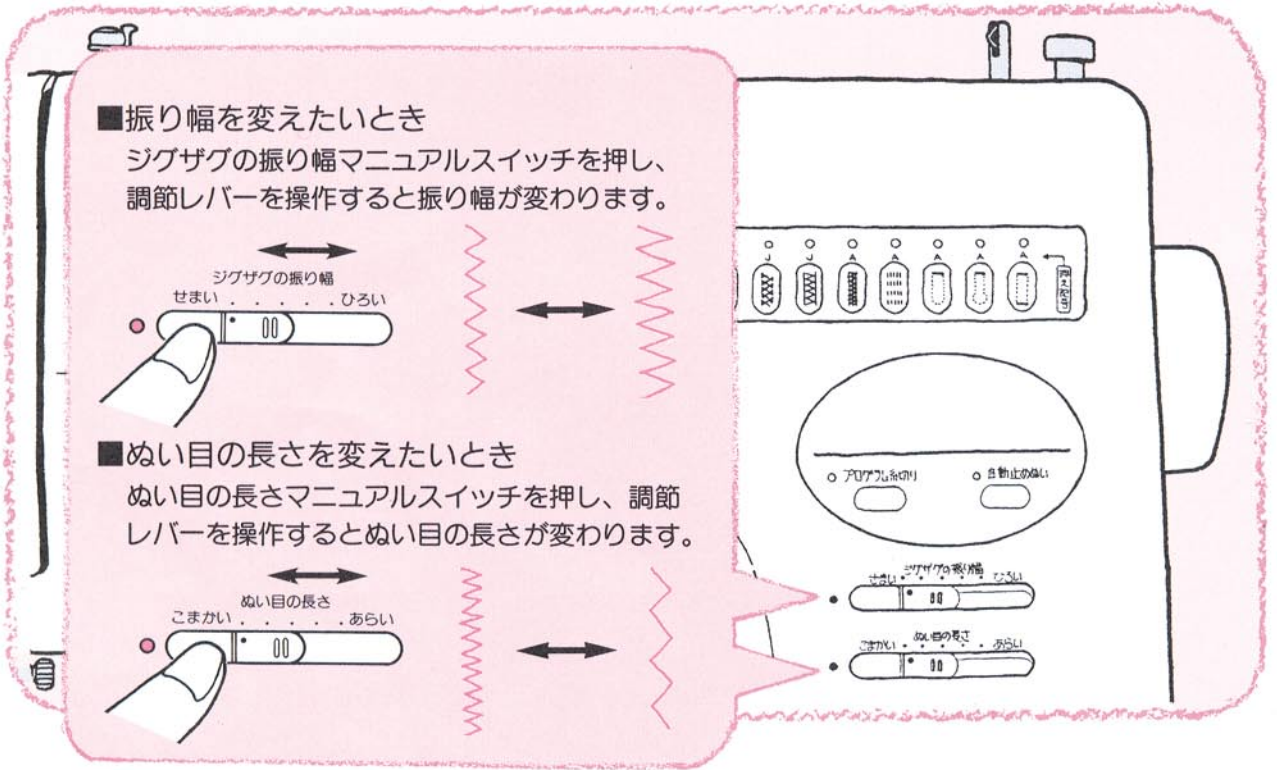
模様一覧

- | | | |
|----------------|----------|-------|
| ●直線(左基線) | ●直線(中基線) | ●ジグザグ |
| | | |
| ●たちめかがり | ●たちめかがり | |
| | | |
| ●三重ぬい | ●点線ジグザグ | |
| | | |
| ●まついぬい | ●まつりぬい | |
| | | |
| ●アップリケ | ●スカラップ | |
| | | |
| ●飾りぬい(ファゴティング) | ●つき合わせ | |
| | | |
| ●かんどめ | ●ダーニング | |
| | | |
| ●ボタン穴かがり | | |
| | | |

振り幅、ぬい目の長さの調節

ぬい目を調節することができます。

マニュアルスイッチを押すとランプが点灯し、ジグザグの振り幅・ぬい目の長さを調節することができます。



■振り幅とぬい目の長さの調節早見表

| 模様 | 直線 (左) | 直線 (中) | ジグザグ | たちめ かがり | 三重ぬい | 点線 ジグザグ | まつりぬい | アップリケ | スカラップ | 飾りぬい | つき合わせ | かんだめ | ダーニング | ボタン 穴かがり | | | | | |
|--------|--------|--------|------|------------|------|------------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 振り幅 | 自動 | (0.0) | — | 3.5 | 3.5 | 5.0 | (0.0) | 5.0 | 0 | 0 | 3.5 | 7.0 | 5.0 | 5.0 | 7.0 | 5.0 | 7.0 | 5.0 | |
| | マニュアル | 0.0 | — | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 0.0 | 1.5 | 3← | 3← | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 1.0 | 2.5 | 3.0 | 3.0 | 3.0 |
| | マニュアル | 6.0 | — | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | →3 | →3 | 5.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 3.0 | 7.0 | 5.0 | 7.0 | 5.0 |
| ぬい目の長さ | 自動 | 2.5 | 2.5 | 1.4 | 2.0 | 2.5 | 2.5 | 1.0 | 2.0 | 2.0 | 2.5 | 0.4 | 2.5 | 2.5 | 0.4 | 2.0 | 0.4 | 0.5 | 0.4 |
| | マニュアル | 0.4 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | — | — | 0.2 | 1.0 | 1.0 | 1.6 | 0.3 | — | — | 0.3 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | マニュアル | 4.0 | 4.0 | 2.0 | 2.5 | — | — | 1.4 | 3.5 | 3.5 | 2.5 | 1.0 | — | — | 1.0 | 2.5 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

*—は自動のため調節することはできません。

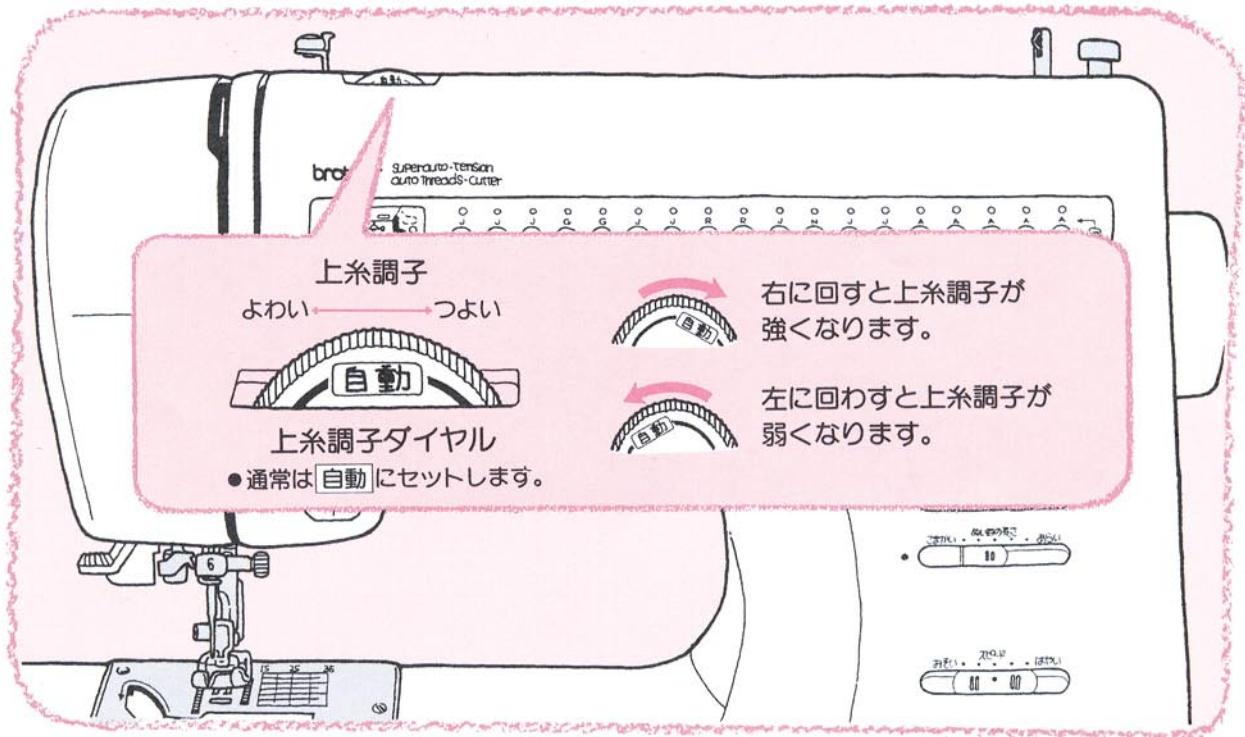
糸調子の合わせ方

糸調子を変えたいときに使います。

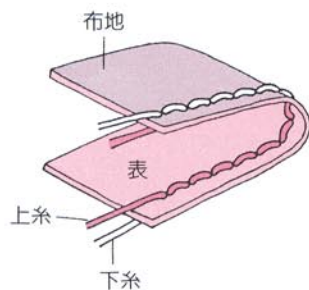
※糸調子は一般的なぬい方(P12「布地と糸と針の選択早見表」参照)をする場合、自動的に取れるようセットされています。

但し、次の場合は糸調子ダイヤルを操作してお好みの糸調子になるよう調節してください。

1. 特殊な糸や素材をぬう場合
2. ギャザーぬいを行う場合
3. サテンステッチをぬう場合
4. 布地の横目方向にぬう場合
5. 自動的にセットされている糸調子が好みに合わない場合

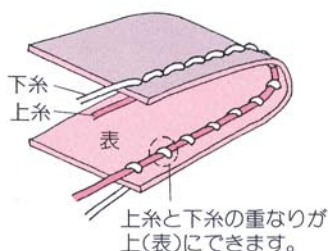


■正しい糸調子



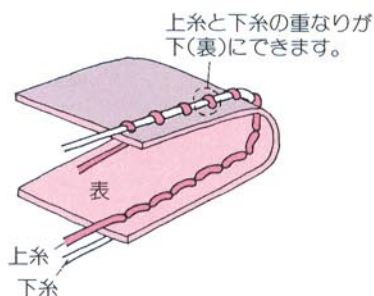
糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく布地にしわがよったり糸が切れたりします。

■上糸調子を強くすると



上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

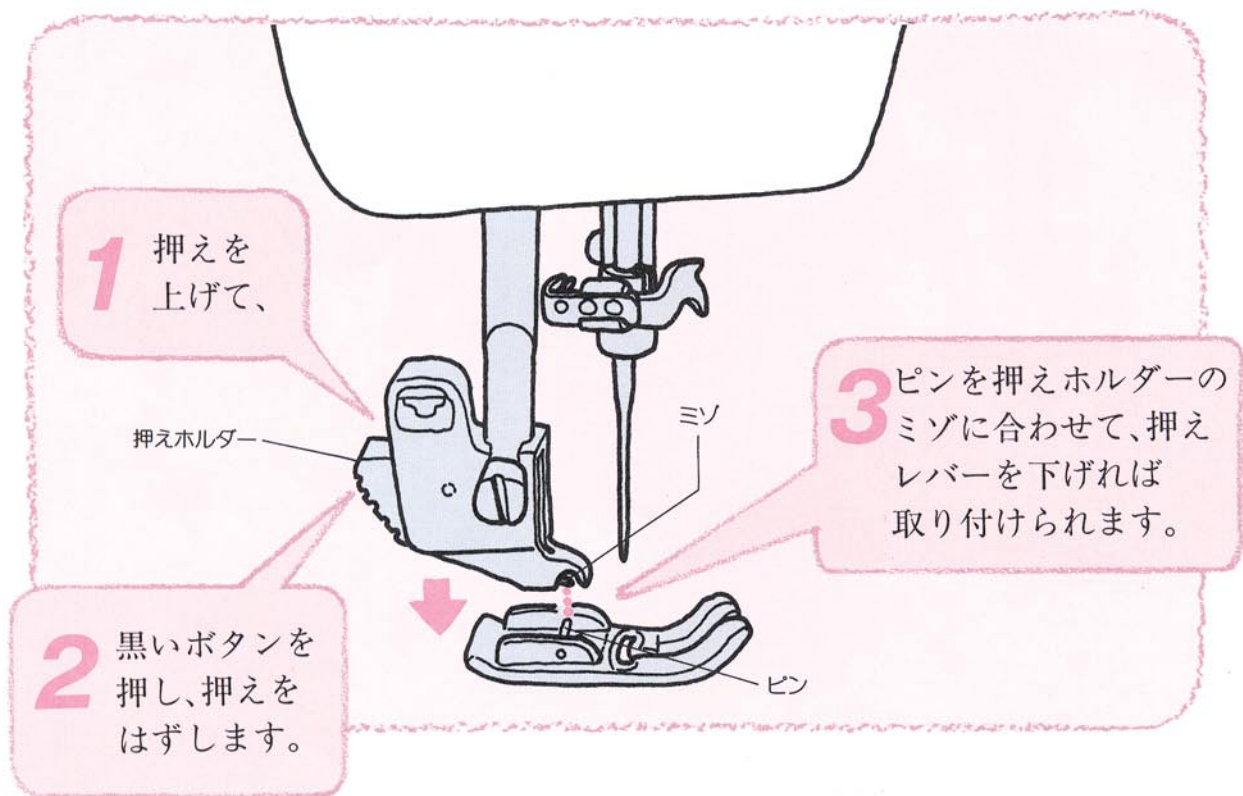
■上糸調子を弱くすると



上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

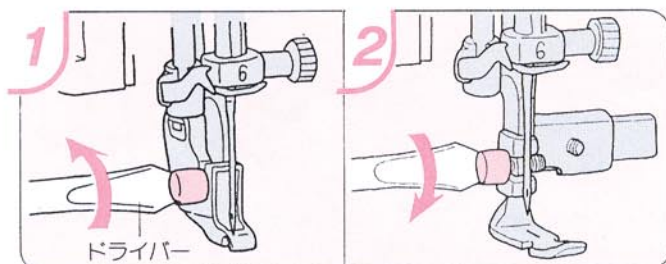
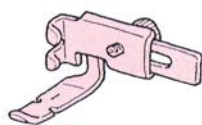
押え交換

模様に合わせて押えに取り替えましょう。



■片押え<I>の取り替え方

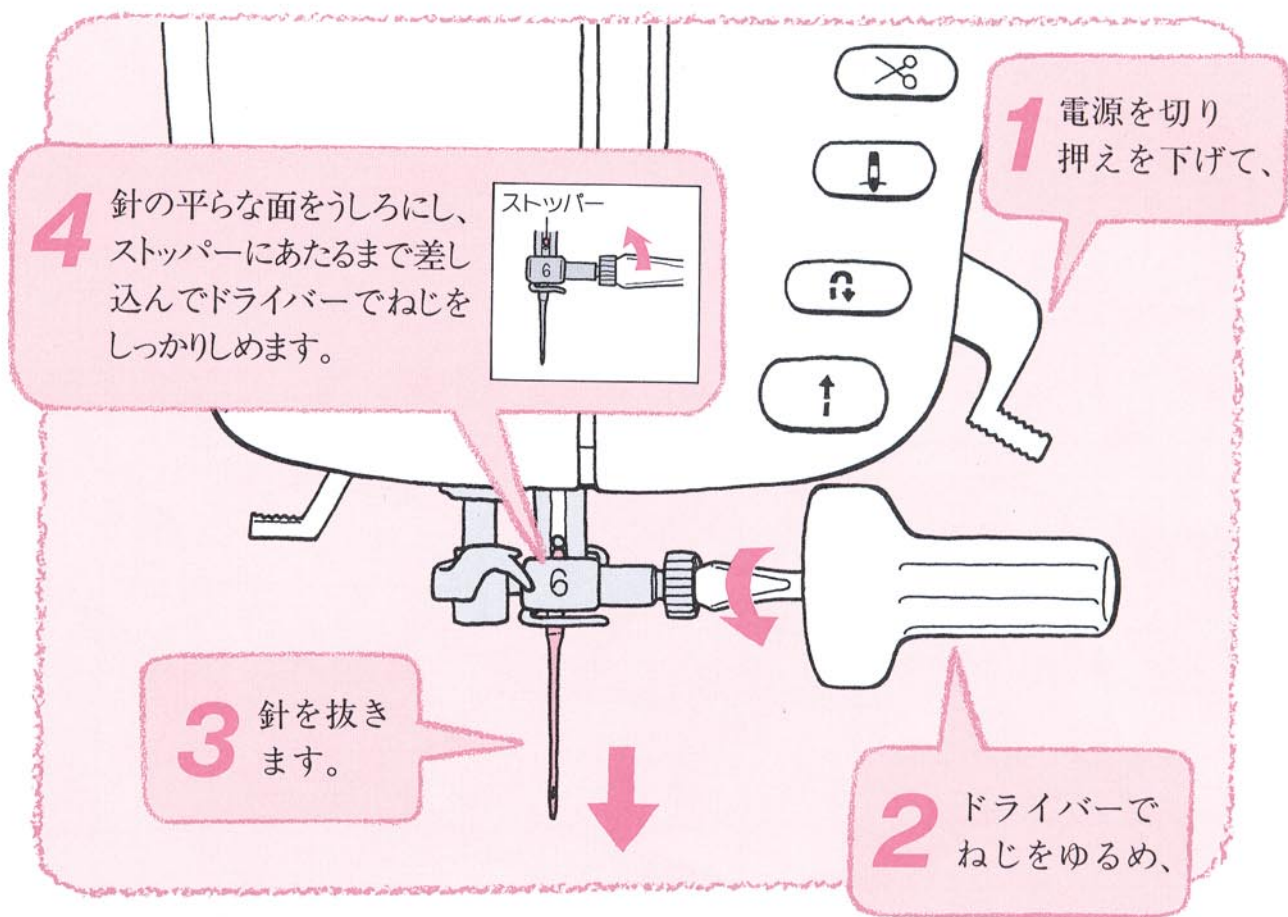
片押え<I>



押えホルダーのねじをゆるめ、押えを取り替え、押えを下げた状態でねじをしめます。

針交換

針はしっかりとねじをしめ、確実にとりつけましょう。

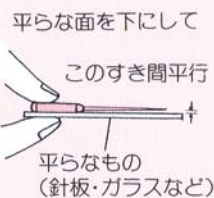


■布地と糸と針の選択早見表

| 布地の種類 | 普通地 | | 薄地 | | 厚地 | | のびる布地 | | ほつれやすい布地 | | ステッチ糸の場合 | | | | |
|-------|-------|-------|--------------|-------|------------|-------|-----------------|-----------|----------|-------|----------|-------|-------|-----|----|
| | アロード | タフタ | フラノ キャピタン | ローン | ジョー ゼット | ポーラ | アニメ | コア ユロイ | ツイード | ジャージ | トロット | | | | |
| 糸の種類 | カタン糸 | 合繊糸 | 絹糸 | カタン糸 | 合繊糸 | 絹糸 | カタン糸 | 合繊糸 | 絹糸 | ニット用糸 | カタン糸 | 合繊糸 | 絹糸 | 合繊糸 | 絹糸 |
| 糸の太さ | 60~80 | 60~80 | 50~80 | 60~80 | 60~80 | 50~80 | 40~50 | 50 | 50 | | 50~80 | 50~80 | 50~80 | 30 | 30 |
| 針の太さ | 11~14 | | 9~11 | | 14~16 | | ゴールデン針 11~14 | | 9~14 | | 14~16 | | | | |

※ゴールデン針は、伸縮性のある布地や目とびしやすい布地に効果があります。

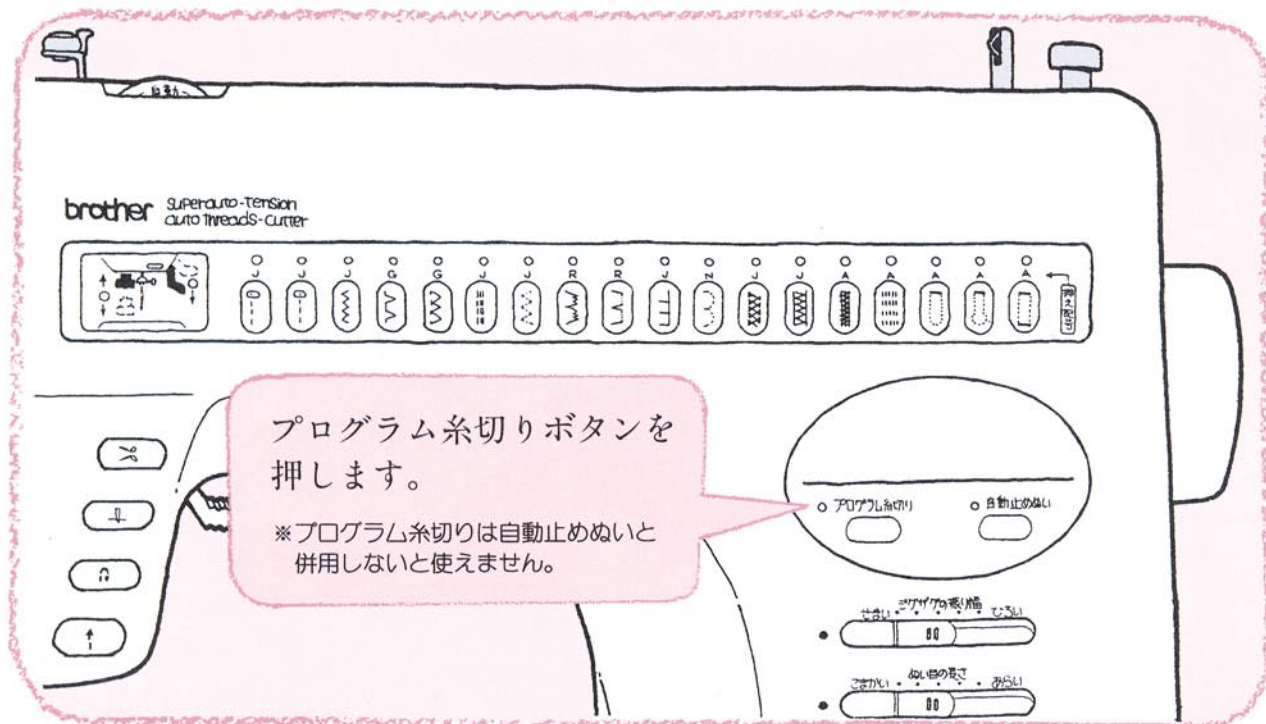
■正しい針の調べ方



プログラム糸切り

自動的に糸を切ります。 めんどうな糸始末が要りません。

あらかじめプログラム糸切りを設定しておく、模様ぬい終わりで自動的に糸を切ります。(ぬい始めとぬい終わりは、止めぬいをします。)



■プログラム糸切りを解除するには



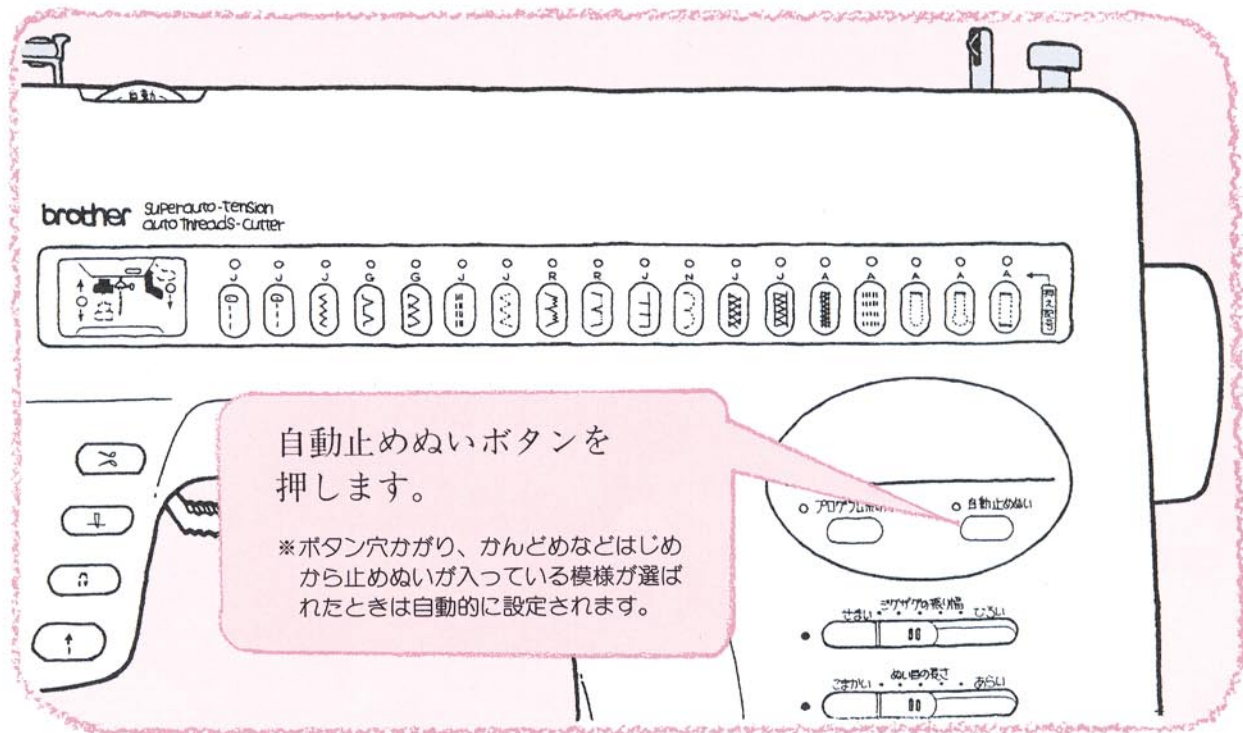
もう一度プログラム糸切りボタンを押すと、ランプが消え、解除されます。

※ボタン穴カガリ、かんどめなどをぬうときにプログラム糸切りを使うと便利です。

自動止めぬい

自動的にほつれ止めをします。

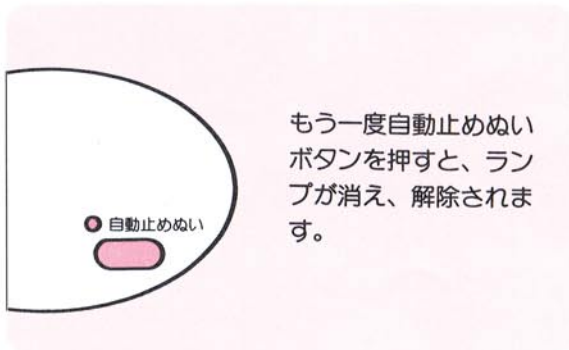
あらかじめ自動止めぬいを設定しておくとし、(↑) スイッチでほつれ止めをしてぬい始め、(↺) スイッチでほつれ止めをして自動的に止まります。



■ (例) 直線するとき



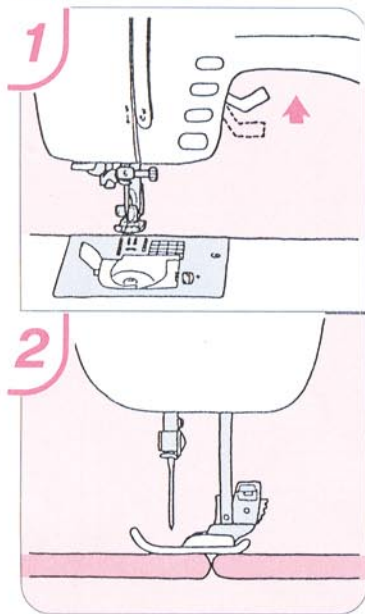
■ 自動止めぬいを解除するには



※直線（左基線、中基線）以外の模様は止めぬいをします。
ぬっている途中で一旦止め、再びスタートしてもほつれ止めはしません。
直線ぬいをしている途中で一度止め、次に(↺) スイッチを押した場合は、返しぬいをして自動的に止まります。

覚えておくと便利

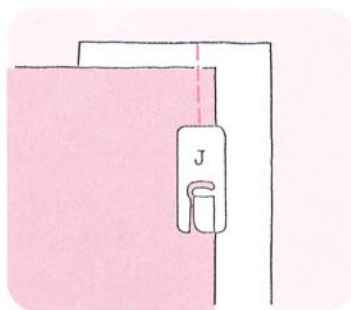
■厚地のぬい方



押えレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。

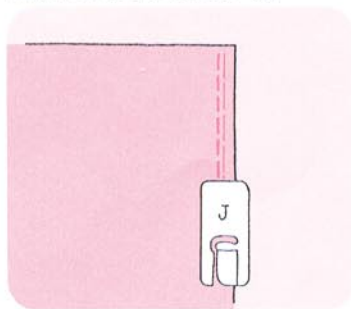
ぬい始めに布地が送らないときは押えの後ろに同じ厚さの布地をおいてぬいます。

■薄地のぬい方



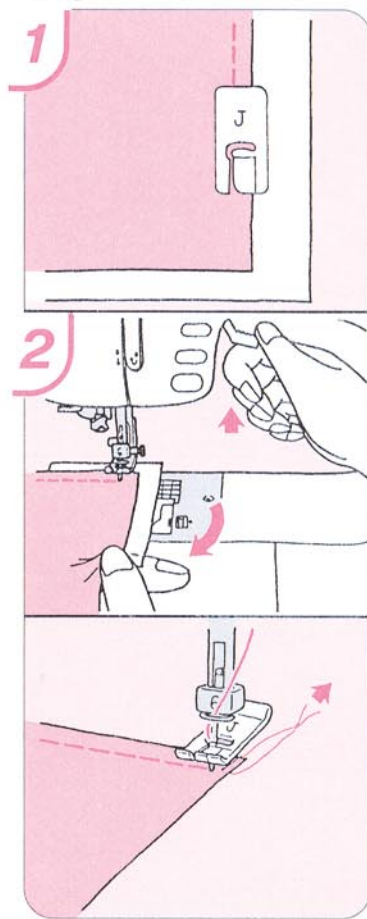
布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■伸びる布のぬい方

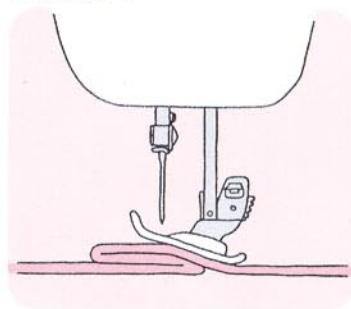


しつけをし、しつけのきわを布地を引っ張らないようにぬいます。または布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■角ぬい



■段ぬい



※直線の場合は左基線でぬいます。

- 薄い布地をぬう場合
薄い紙を下にしてぬいます。

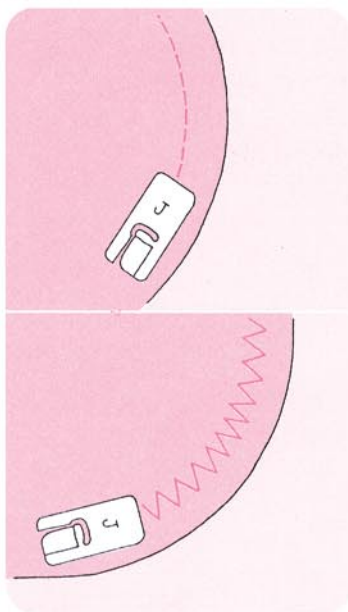
角まで来たら針を下げたまま押えを少し上げ、紙を持って回します。

- 0.5 cm以下のステッチでぬう場合

角部にしつけ糸をつけ、方向をかえたら糸を後ろへ引っ張りながらぬいます。

手で布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

■カーブぬい



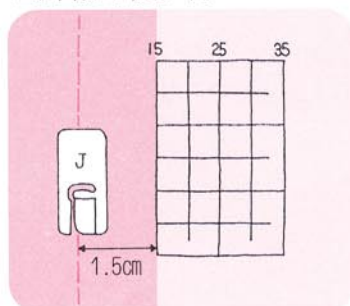
- 直線の場合

ぬい目が布端と平行になるようにゆっくりとぬいます。

- ジグザグの場合

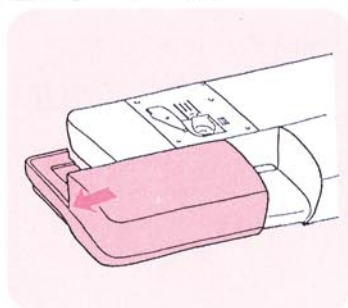
ぬい目を細かくしてぬうと、ぬい目がそろってみえます。

■針板の使い方

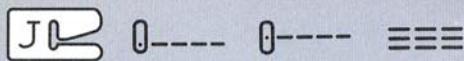


布端を針板の線に合わせてぬうとぬい幅がそろいます。

■フリーアーム



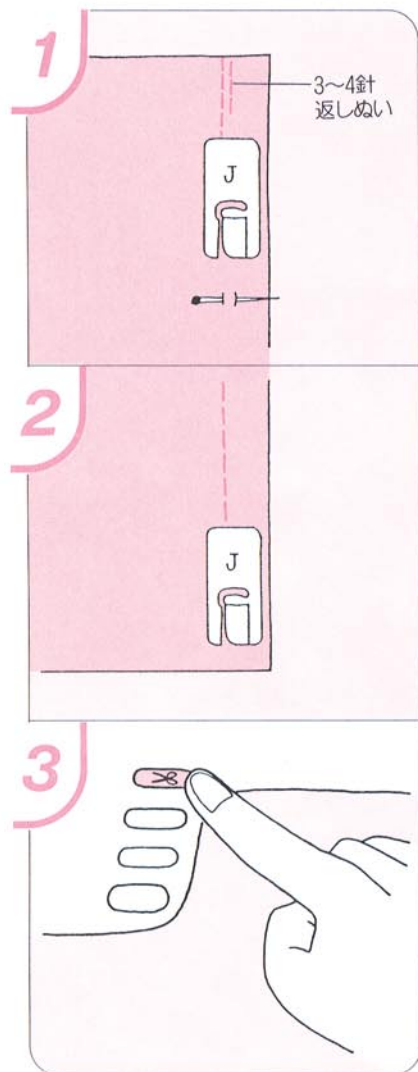
ズボンのすそ、カフスつけなど筒の部分をぬうときに便利です。



直線・三重ぬい

地ぬい・ステッチなどに用います。

1. 、 または  を押します。
2. <J> 押えを取り付けます。



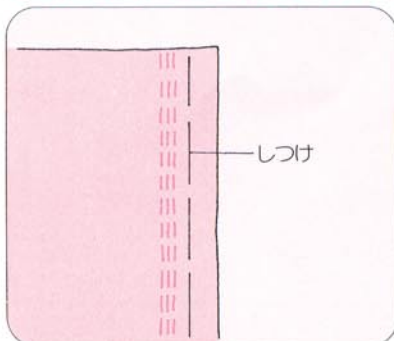
布地にしつけぬい、またはまち針を打ち、3~4針返しぬいをしてスタートします。

※返しぬいの分、布地は奥へ入れておきます。

ぬい終わりに近づいたら、スピードを落とし、返しぬいをしてストップします。

ぬい終わりは、糸切りスイッチを押して糸を切ります。

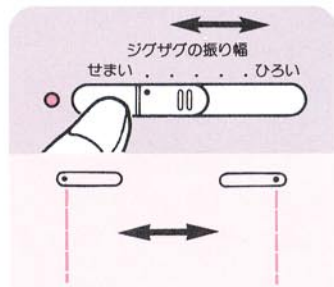
●ぬい目を丈夫にしたい場合・伸びる布地の場合



しつけをし、しつけのきわをぬいます。

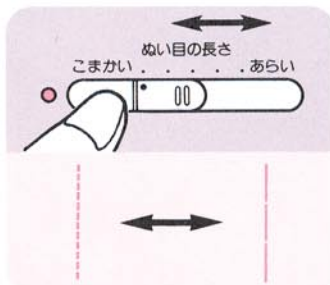
※ぬい目の長さは変えられません。
※布地を引っ張らないようにぬってください。

■針位置を変えるには

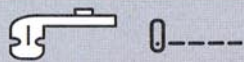


直線(左基線)を選び、ジグザグの振り幅マニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節します。


■ぬい目の長さを変えるには

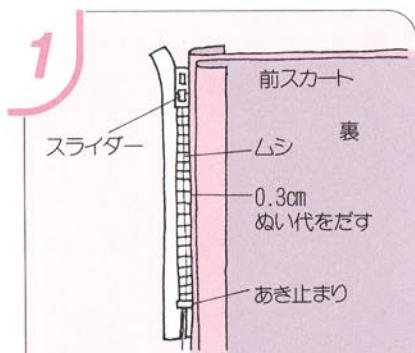


ぬい目の長さマニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節します。

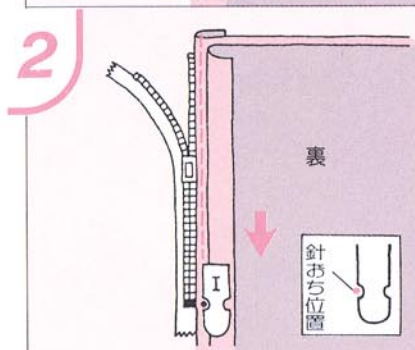


ファスナーつけ

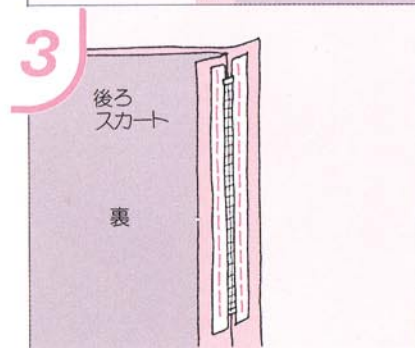
1.  を押します。
2. <I> 押えを取り付けます。



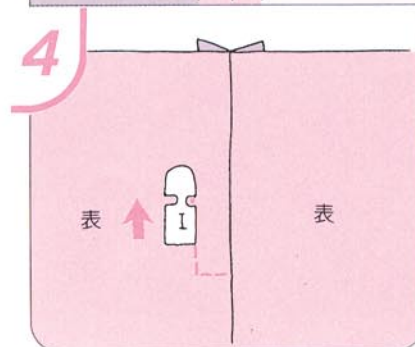
ぬい代をわり、後ろスカートのぬい代を0.3cm出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



<I> 押えを取り付け、押えの後ろの調節ねじで針おち位置を調節し、あき止まりまでぬいます。

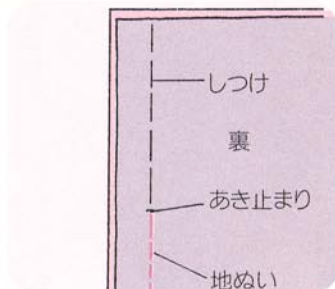


ファスナーを閉じて裏返し、もう片方のぬい代にぬいつけます。



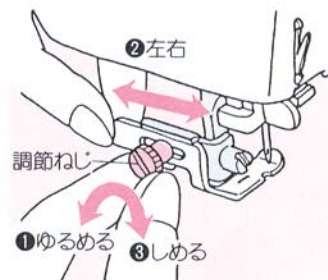
表に返し、ステッチをかけます。
※5cmほど手前までぬったらミシンを止めてスライダーをずらし、残りをぬいます。

■準備



<J> 押えを取り付け、あき止まりまでは地ぬいをし、あきの部分にはしつけをしておきます。

■針おち位置を変えるには



※プーリーを回して針が押さえに当たらないことを確認します。

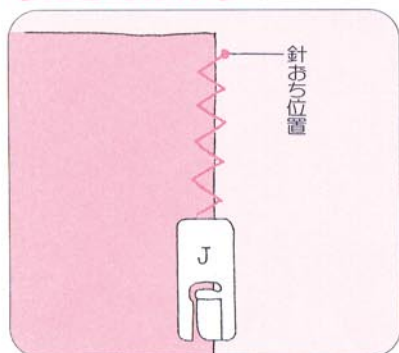
ジグザグ

たちめかがり、アップリケ、パッチワークなどに用います。

1.  を押します。

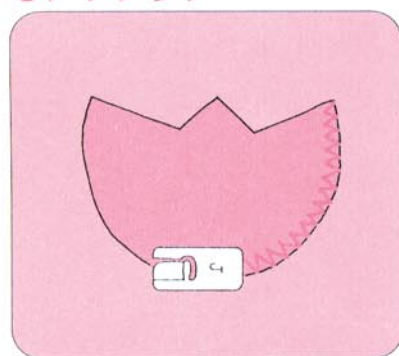
2. 〈J〉 押えを取り付けます。

●たちめかがり



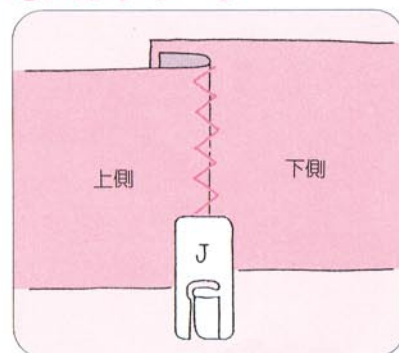
針を布端より外側におとしてぬいます。

●アップリケ



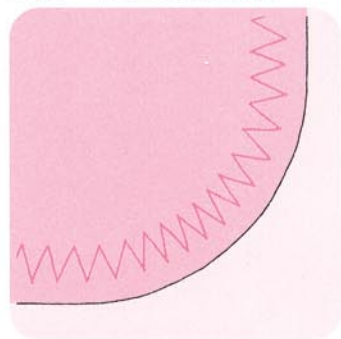
アップリケ布をのりづけ、またはしつけをしてぬいます。
※針をアップリケ布の端より少し外側へおとしてぬいます。

●パッチワーク

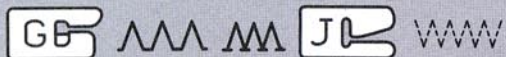


上側の布地の端を折り、下側の布地に重ねて両方の布に模様がまたがるようにしてぬいます。

■カーブぬいの場合



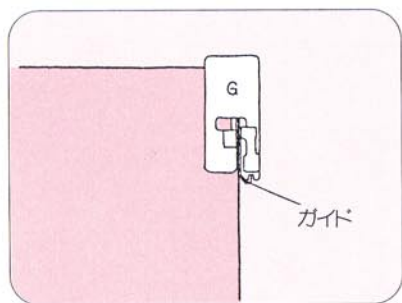
ぬい目を細かくぬうと、ぬい目がそろってみえます。



たちめかがり 点線ジグザグ

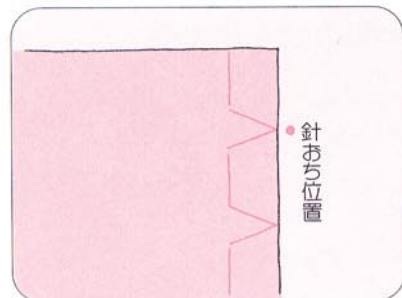
たちめかがりなどに用います。

1. 、 または を押します。
2. <G> または <J> 押えを取り付けます。

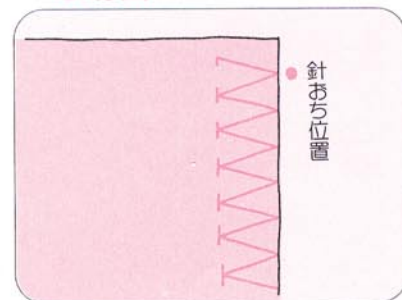


布端を押えのガイドにあてながらぬいます。

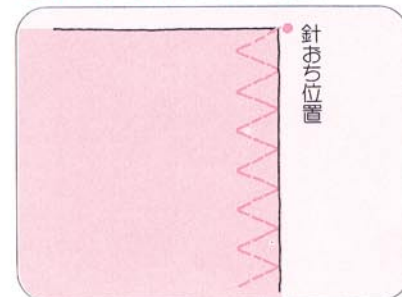
●薄地・普通地の場合



●厚地・ほつれやすい布地の 場合



●伸びる布地の場合



<J>押えを取り付け、針を布端より少し外側に落としてぬいます。

針が当たらないように

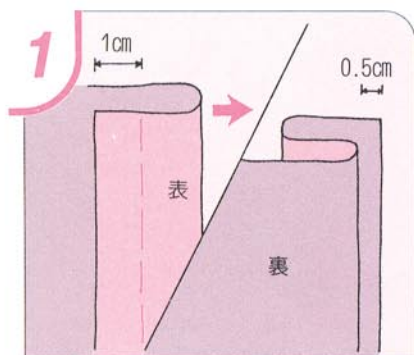
※振り幅を調節した場合は、針が押えの中央ガイドに当たらないことを確認してください。



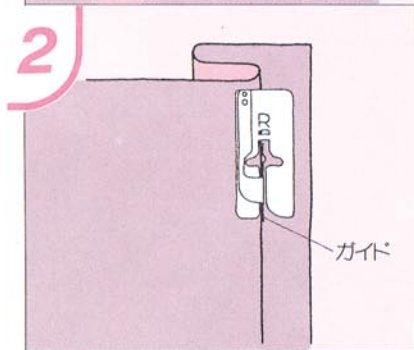
まつりぬい

スカートなどのすそ上げに用います。

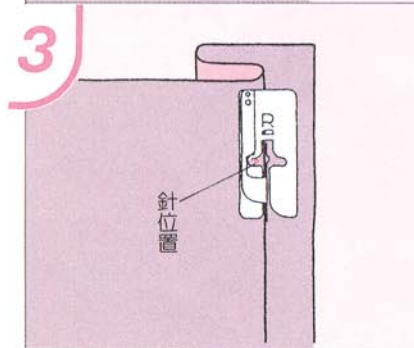
1. または を押しします。
2. <R> 押えを取り付けます。



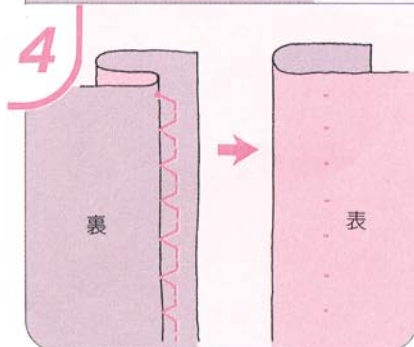
布地を折り、しつけをします。



ガイドに折り山を合わせて押えを下げます。

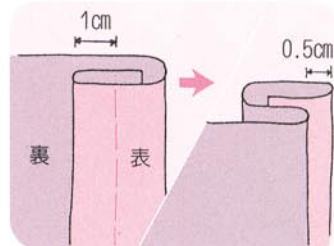


針が折り山にかかる量をジグザグの振り幅マニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節して折り山をガイドにあてながらぬいます。
※伸びる布地の場合は でぬいます。

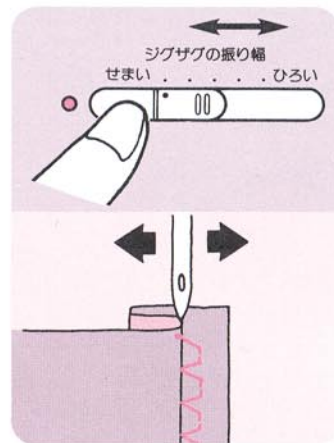


表に返し、しつけをとります。

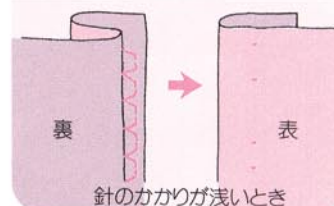
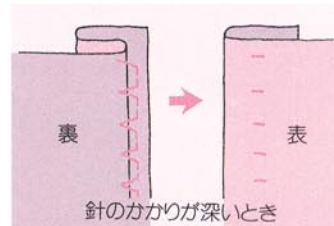
■薄地の場合の折り方




■針位置の合わせ方

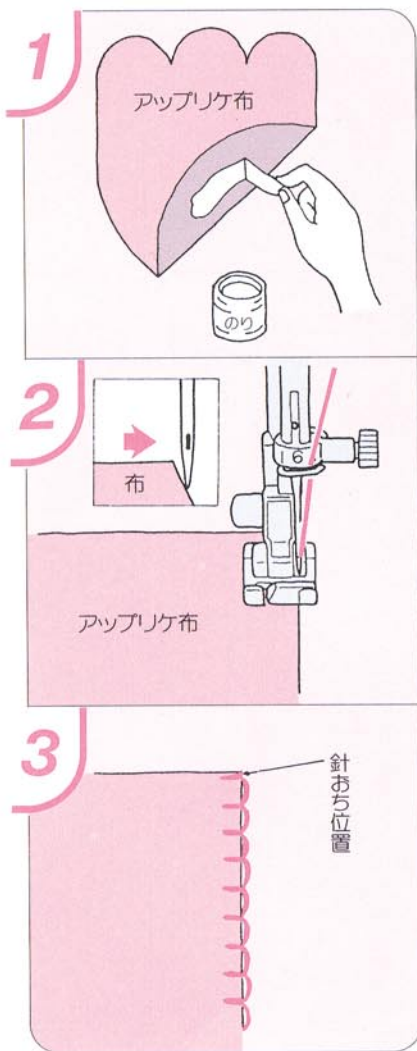


布の折り山に針がわずかにかかるように調節します。



アップリケ

1.  を押します。
2. 〈J〉 押えを取り付けます。

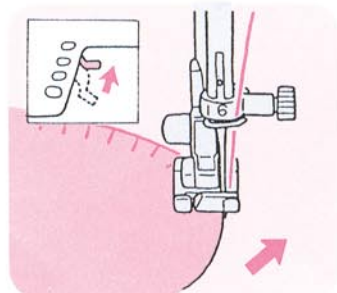


アップリケ布を止めます。
 ※アップリケ布がズレない程度にのりづけをするか、しつけをします。

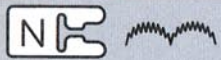
針おち位置と針が右にあることを確認して、ぬいます。
 ※ぬい始めとぬい終わりの糸は止めぬいをするか、上糸と下糸をしっかり結んでください。

ぬい上がり

■急な角度をぬう場合




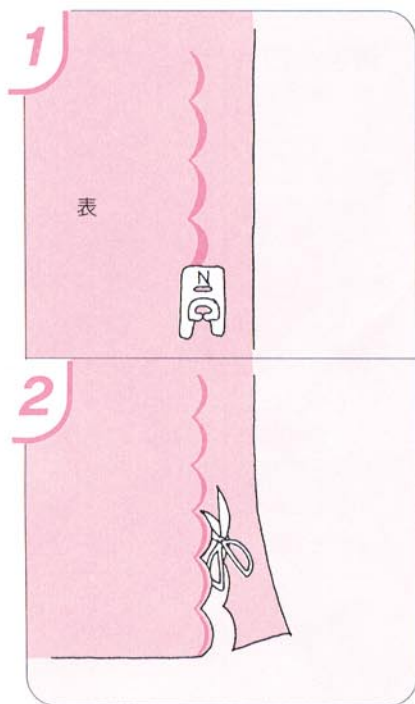
- 1 ミシンを止め、アップリケ布の右側に針を落とします。
- 2 押えを上げ、針を軸にして布地を回します。



スカラップ

ブラウスのえりなどのみち飾りに用います。

1.  を押します。
2. 〈N〉 押えを取り付けます。

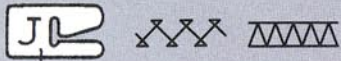


模様が布端にかからないように端を残してぬいます。

糸をきらないようにぬい目にそって布地を切ります。



ブラウスのえりや、ハンカチなどのふち飾りに用います。

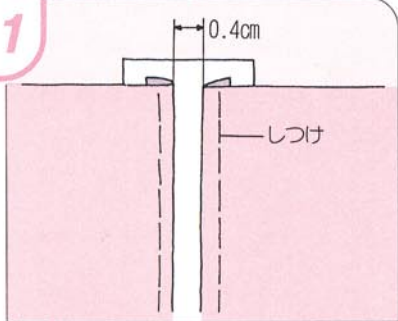


飾りぬい(ファゴティング) つき合わせ

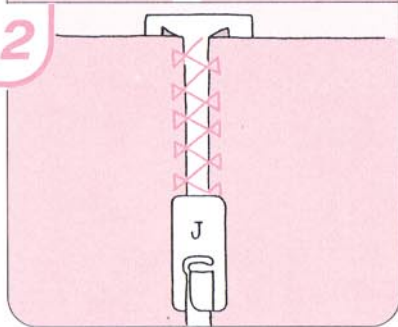
飾りや布地のつき合わせに使います。

1. または を押します。
2. <J> 押えを取り付けます。

●飾りぬい(ファゴティング)

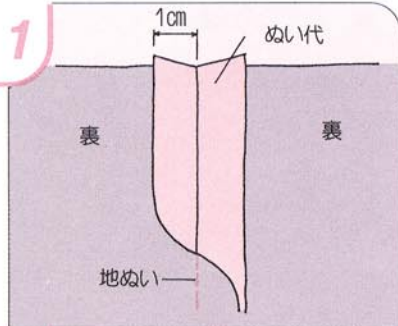


布地を薄い紙にしつけます。

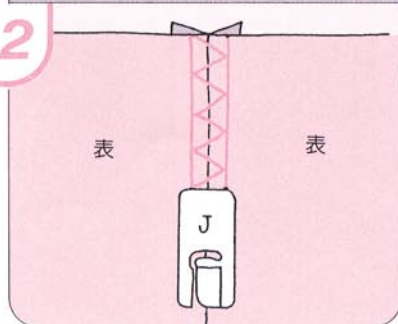


ジグザグの振り幅マニュアルスイッチを押し、調節レバーで振り幅を最大にして押えの中心を布と布の間の中心に合わせてぬいます。
※糸は太番手のものを使ってください。
※ぬい終わったら紙をはがします。

●つき合わせ

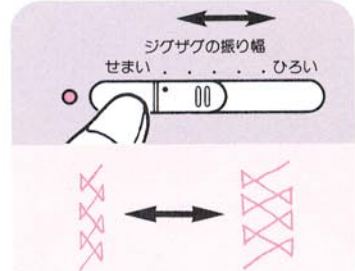


2枚の布を中表に合わせて地ぬいしたあと、ぬい代をわります。



押えの中心を、布と布の中心に合わせてぬいます。

■ぬい幅を変えるには




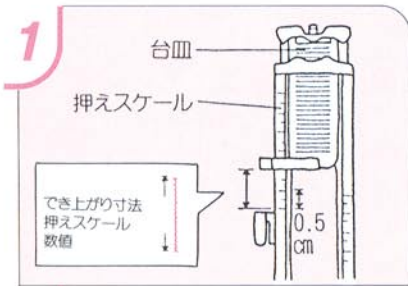
ジグザグの振り幅マニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節します。



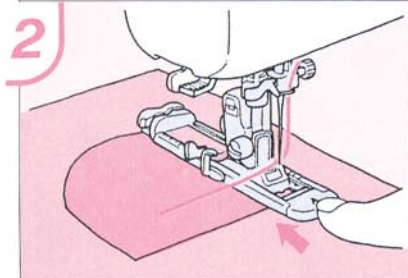
かんどめ

ポケット口の補強などに使います。

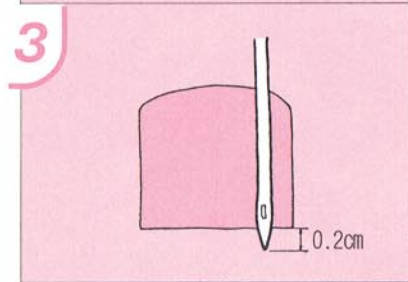
1.  を押します。
2. 〈A〉 押えを取り付けます。



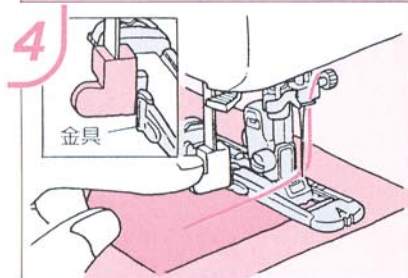
押えの目盛りでぬう長さをセットします。
 ※0.5~3cmまでのかんどめができます。通常0.5~1 cmの長さを使います。



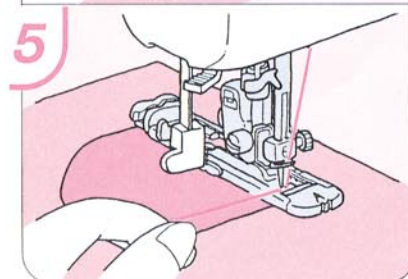
ポケット口が手前になるように布地を置きます。



最初の針おち位置を確認して押えを下げます。

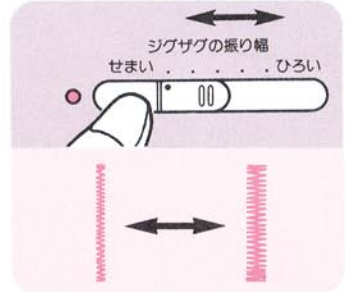


ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。

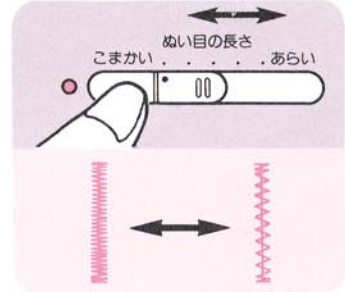


上糸を持ってぬいます。
 ※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
 ※あらかじめプログラム糸切りの設定（P.13）をしておくともぬい終わりは自動的に糸を切ります。

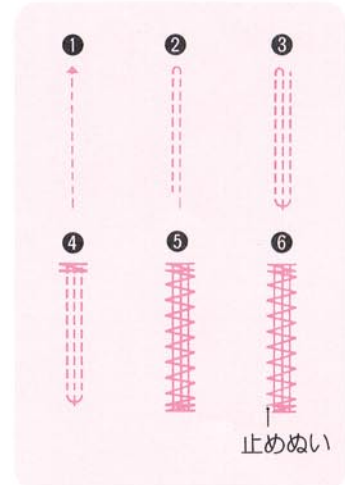
■ぬい幅を変えるには

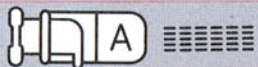


■ぬい目の長さを変えるには




■かんどめのぬわれていく順序

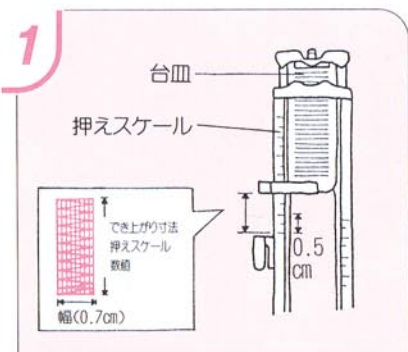




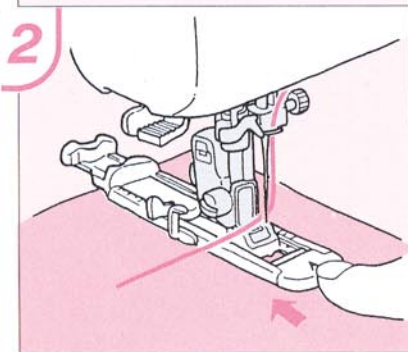
ダーニング

つくろいぬいなどに使います。

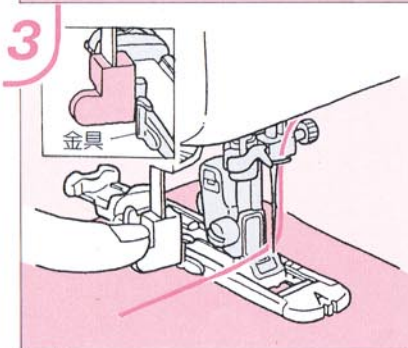
1.  を押しします。
2. 〈A〉 押えを取り付けます。



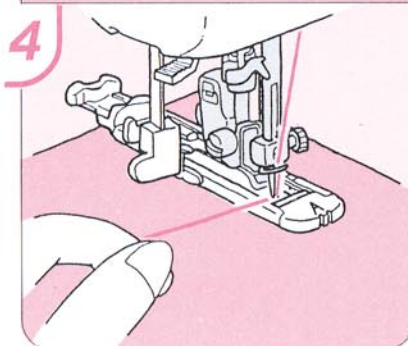
押えの目盛りでぬう長さをセットします。
 ※最大長さ 3 cmのダーニングができます。



ぬう場所に押えを合わせ、押えを下げます。

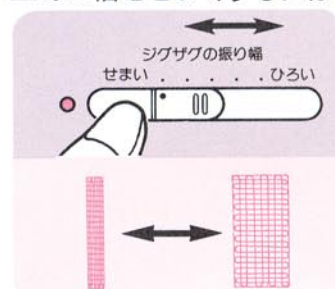


ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。

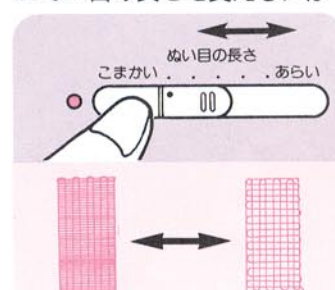


上糸を持ってぬいます。
 ※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。
 ※あらかじめプログラム糸切りの設定（P.13）をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切ります。

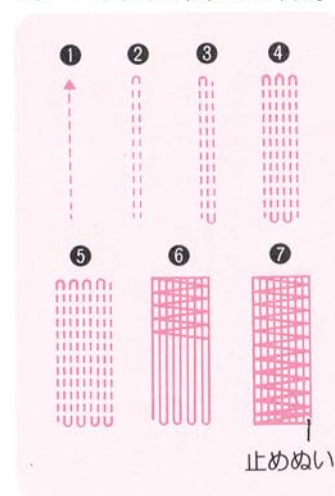
■ぬい幅をせまくするには



■ぬい目の長さを変えるには



■ダーニングのぬわれていく順序

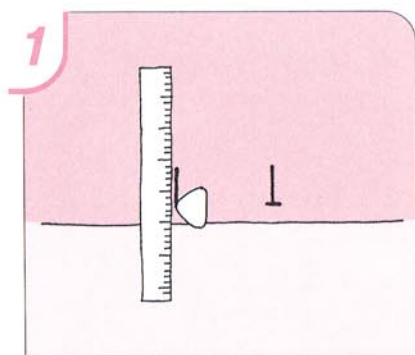




ボタン穴かがり

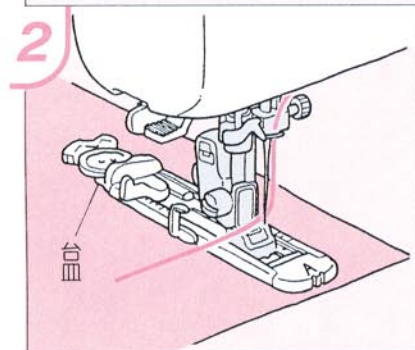
ボタン穴の他、ひもやりボンを通す穴にも使います。

1. 、 または を押します。
2. 〈A〉 押えを取り付けます。

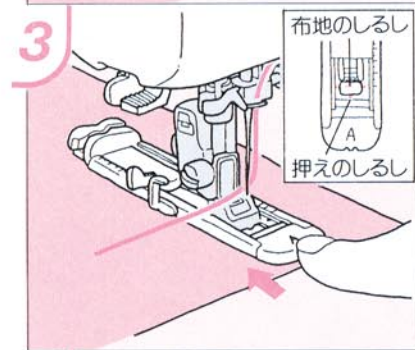


ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけます。

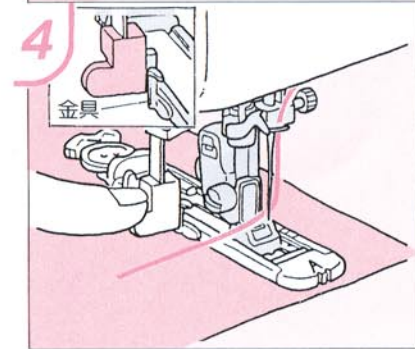
※(ボタンの直径+厚み)が3cmまでのボタン穴かがりができます。



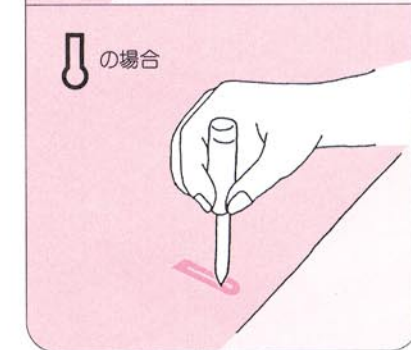
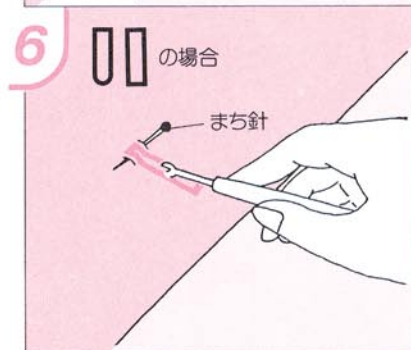
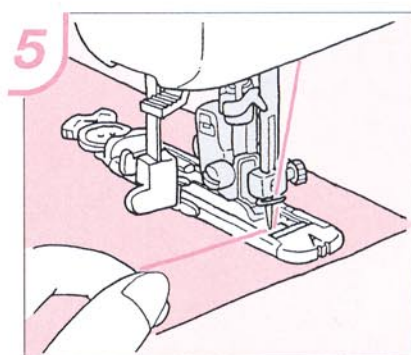
台皿を引き出し、ボタンののせてはさみます。



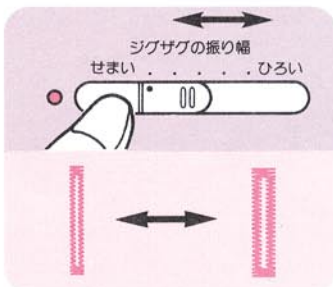
押えの赤いしるしに布地のしるしを合わせて、押えを下げます。



ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。



■ぬい幅を変えるには



ジグザグの振り幅マニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節します。

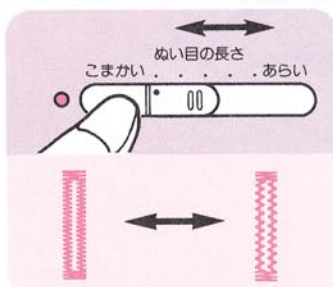
上糸を持ってスタートします。

※手は布地にかるくそえてください。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定(P.13)をしておくともぬい終わりは自動的に糸を切ります。

■ぬい目の長さを変えるには



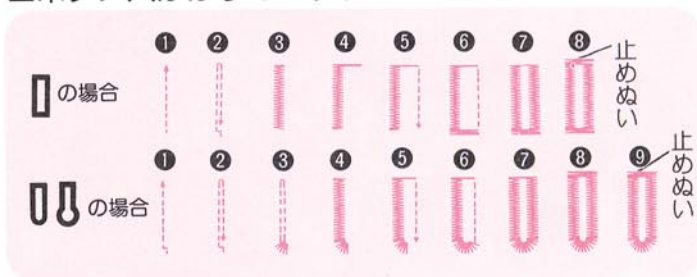
ぬい目の長さマニュアルスイッチを押し、調節レバーで調節します。

※ぬい目がつまる場合には、ぬい目をあらくします。

リップperで開きます。

●ネムリ穴と両かんどめ穴の場合

■ボタン穴かがりのぬわれていく順序

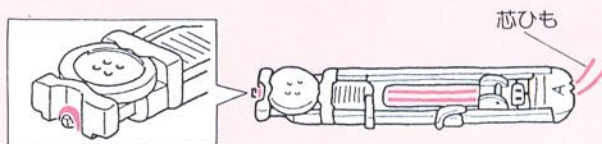


●ハトメ穴の場合

ハトメ穴パンチでハトメに穴をあけてからリップperで開きます。

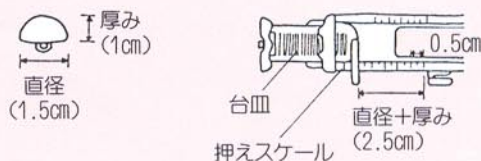
■のびる布地の場合

のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。(ただし □ のみ)



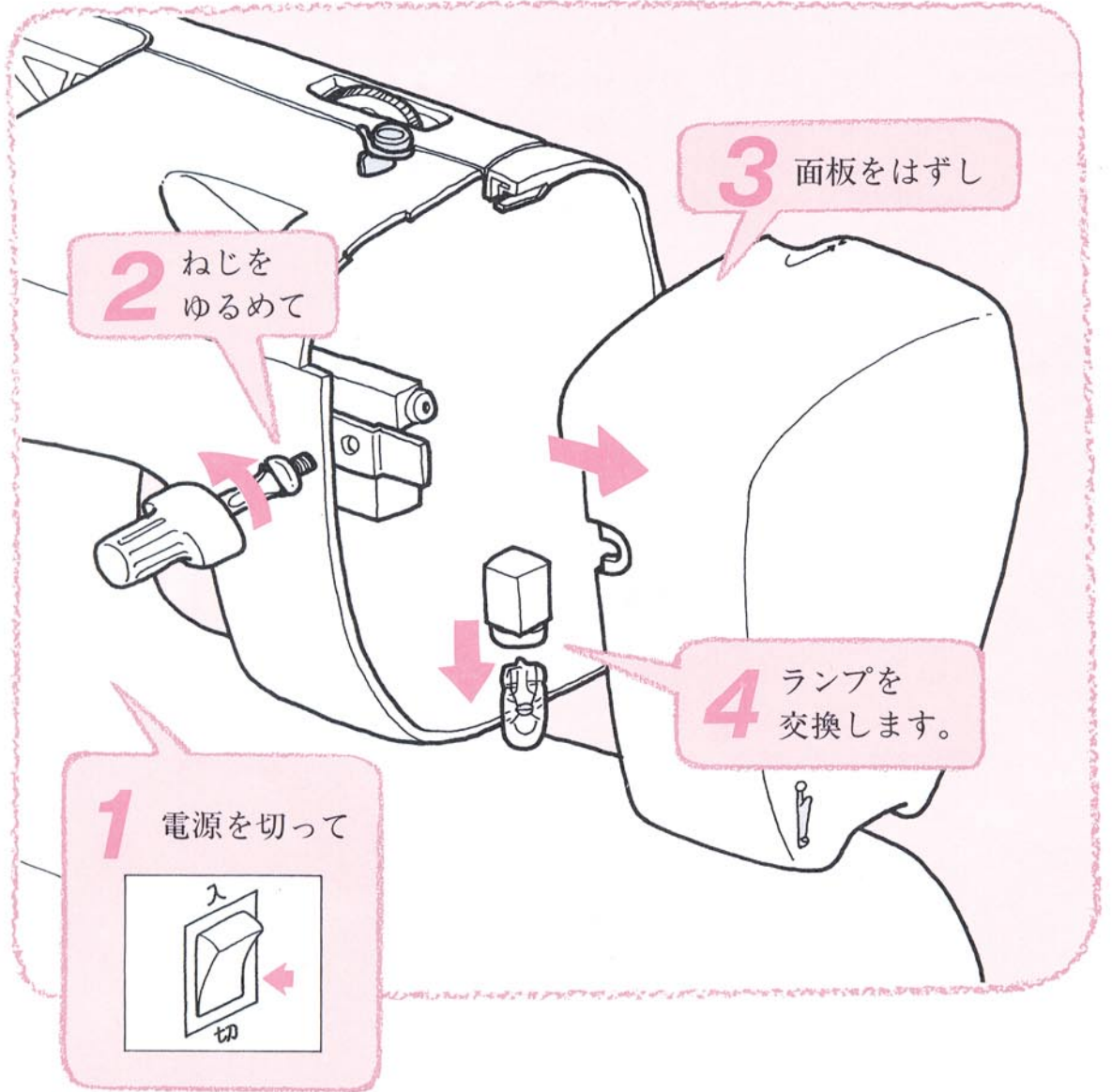
■ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りにボタンの直径+厚みの寸法をセットします。(例)直径1.5cm、厚み1cmの場合、スケールを2.5cmにセットします。



ランプの交換

ランプが切れたら



※ランプ(8V、2.4W/部品コードX50228-001)は最寄りのプラザ販売店でお買い求めください。

お手入れ

いつも清潔にしておきましょう。

1 電源スイッチを切ってから、
押えホルダーと針をはずし、

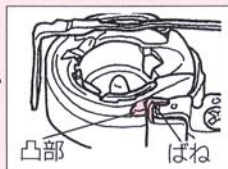
2 ねじを
ゆるめます。

3 針板を
はずします。

5 付属のブラシや掃除機で
外かまとその周辺の
糸くずをとります。

4 内かまを
取り出し、

6 内かまの凸部とばねを
合わせて取り付けます。



※ほこりなどがたまると縫製不良の原因となります。

ぬい方早見表

| 模様の種類 | 直線 | | | ジグザグ | 三重ぬい | たち目 かがり | | 点線 ジグザグ | まつりぬい | | アップリケ | スカラップ | 飾りぬい | つぎぬい |
|-----------------------|-----------------------------|---|---|----------------------------|-------------------------|------------------|-----------------------|----------------------|----------------|-----------------|-----------------|-------------------------|-----------------|---------------|
| 選択記号 | | | | | | | | | | | | | | |
| 押え記号 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な用途 | ファスナー付け・おとし ミシン・ハンタックその他 | | | 裁ち目かがり・アップリ ケ・パッチワークその他 | 地ぬい(ぬい目を丈夫に したいときなど) | 普通地・薄地の ほつれ止め | 厚地・ほつれやすい布地 のほつれ止め | 伸びる布地のほつれ止め ゴムも付け | 伸びる布地の すそ上げ | スカートなどの すそ上げ | アップリケ ワッペンつけ | ブラウスのえりやハンカ チなどのふち飾り | 飾りぬい フアコティング | 飾りぬい つぎ合わせ |
| 返しぬい スイッチ | 返 | 返 | 返 | (返) | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 | 止 |
| ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ぬい目の長さ マニュアルスイッチ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| プログラム 糸切り | | | | | | | | | | | | | | |

| 模様の種類 | かんどめ | ダーニング | ボタン 穴かがり | | |
|-----------------------|------------------|-------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 選択記号 | | | | | |
| 押え記号 | | | | | |
| 主な用途 | ポケット口などの 補強ぬい | つくりぬい | ブラウス・シャツなどの ボタン穴かがり | スウェーチーパーなどの ボタン穴かがり | バジヤマ・シャツなどの ボタン穴かがり |
| 返しぬい スイッチ | | | | | |
| ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ぬい目の長さ マニュアルスイッチ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| プログラム 糸切り | | | | | |

返……返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。自動止めぬい設定時は後進3針、前進3針の往復ぬいをします。

(返)……返しぬいスイッチを押している間、返しぬいができます。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。

止……返しぬいスイッチを押している間、止めぬいを3針行って止まります。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。

○……調節することができます。

×……自動のため調節することができません。

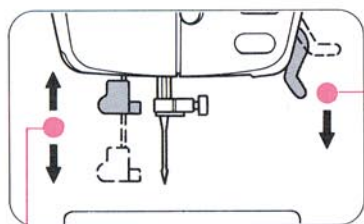
✕……あらかじめプログラム糸切りの設定をしておくともぬい終わりは自動的に糸を切ります。

⊗……あらかじめプログラム糸切りと自動止めぬいの設定をしておくともぬい終わりは自動的に止めぬいをして糸を切ります。

エラー表示・電子音

ミシンが正しくセットされていない状態で、スタート/ストップスイッチ、返しぬいスイッチが押されたときやまちがった操作をしたときは、ミシンが運転されず、エラー表示や電子音でお知らせします。

●エラー表示



押えレバーを下げてください

押えが上がった状態でスタート/ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに電子音とランプが点滅表示します。

青いレバーを上げてください

ボタン穴かがり用切換レバーが下がった状態でボタン穴かがり押えを使用する模様以外の模様を選択し、スタート/ストップスイッチ・返しぬいスイッチを押したときに電子音とランプが点滅表示します。

青いレバーを下げてください

ボタン穴かがり用切換レバーが上がった状態でボタン穴かがり押えを使用する模様を選択し、スタート/ストップスイッチ・返しぬいスイッチを押したときに電子音とランプが点滅表示します。

(この場合ミシンが一回転だけ動きます。)

●電子音

正しい操作をしたとき → 1回 “ビッ”

まちがった操作をしたとき → 2回 “ビッビッ” または4回 “ビッビッビッビッ”

糸がらみなどでミシンがロックしたとき → 4秒間鳴り続けます。



この場合 ●ミシンは自動的に止まります。

●停止後4秒経過すると、操作可能状態にもどります。

●ロックした原因を直さないでスタート/ストップスイッチを押さないでください。

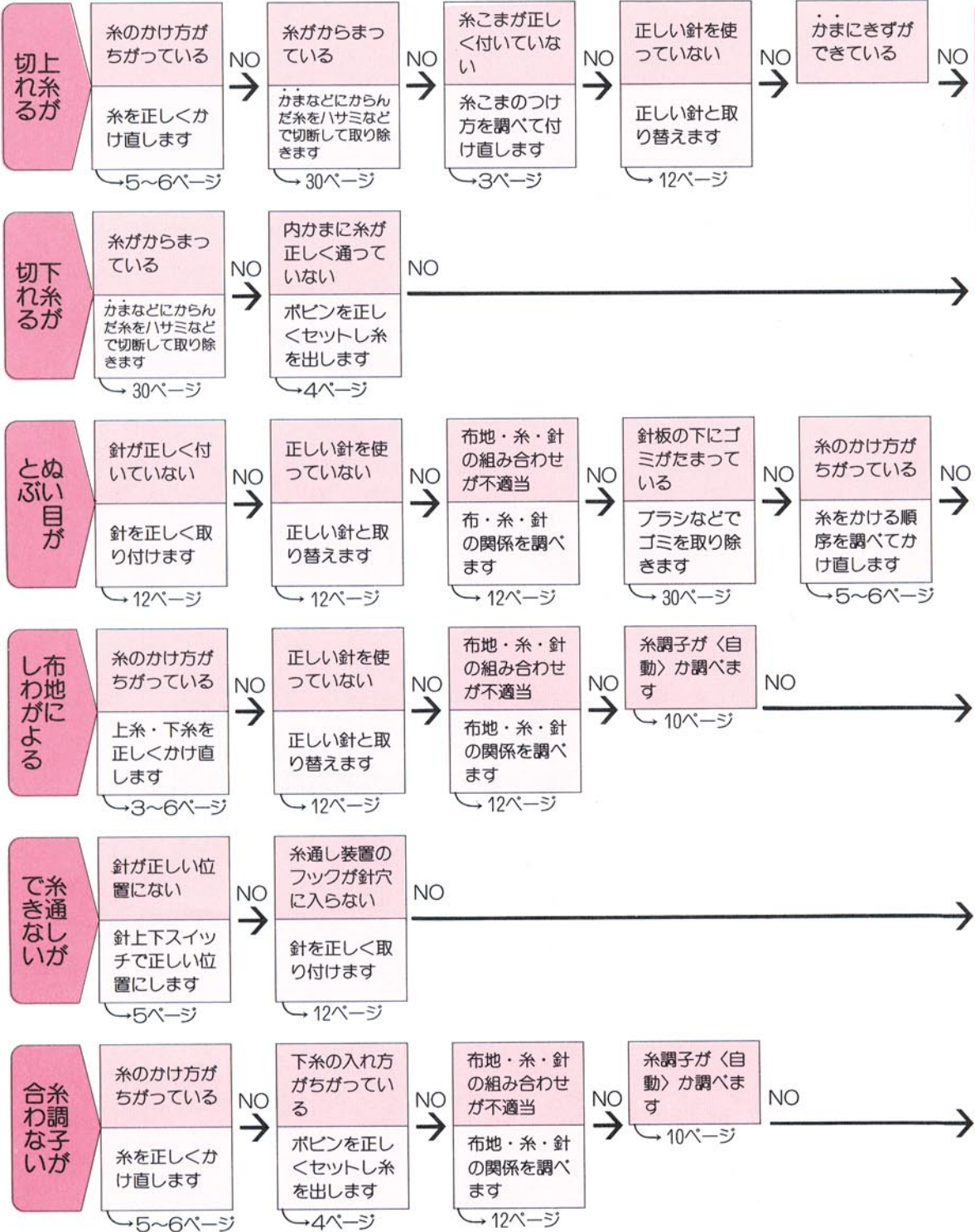
●糸がらみなどでロックした原因を直すときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

トラブルチェック

(簡単なミシンの調整)

落ちついて原因

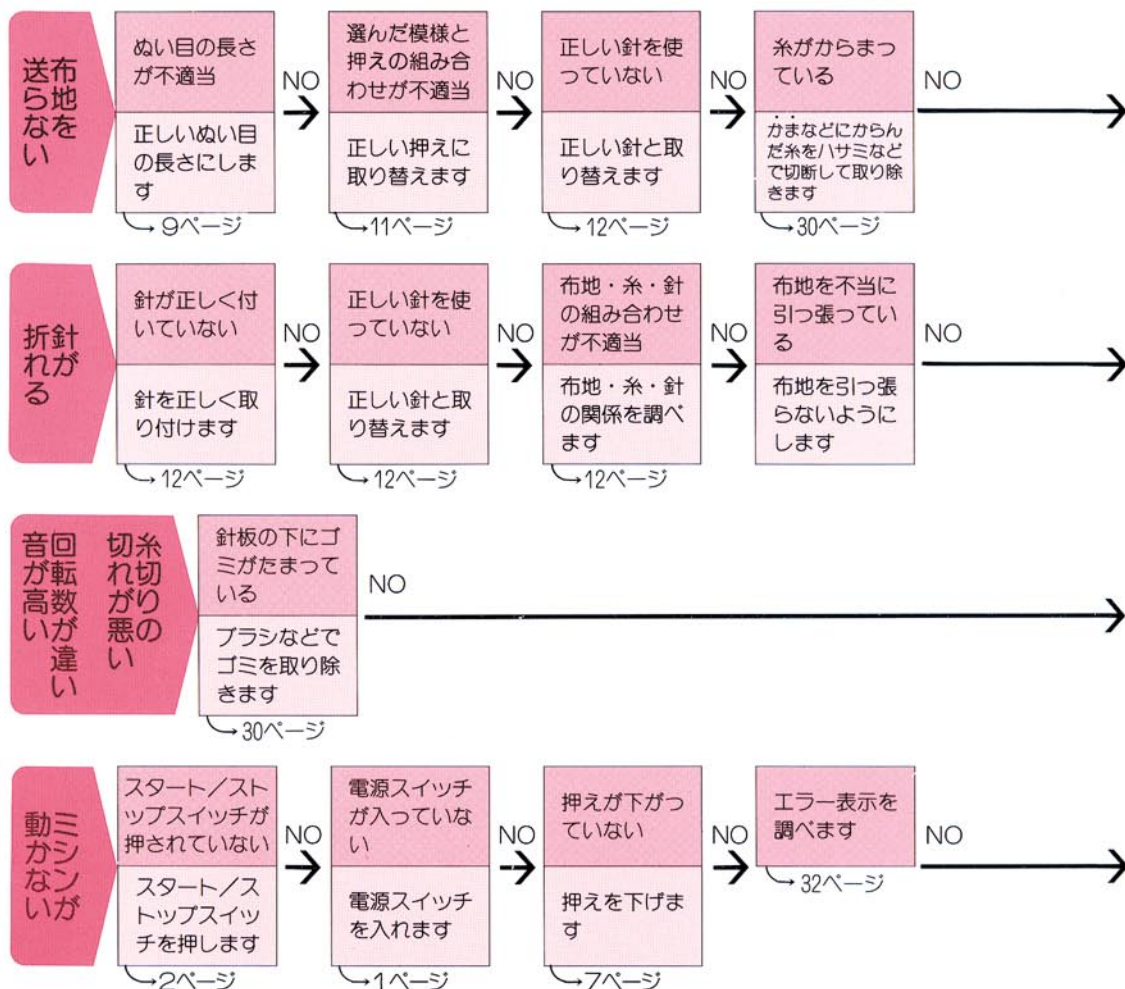
■糸とぬい目のトラブル



●もしそれでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

を確かめましょう。

■機械トラブル



●もしそれでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

ご注意

- このミシンは、針棒切り離し機構により、自動糸切り時に縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。
- 運転中に停電が発生した場合
 - ・電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - ・再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
 - ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

| | | |
|----------|-----------------------|-------------------|
| 北海道事業所 | 〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2 | TEL:(011)261-6631 |
| 東北事業所 | 〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10 | TEL:(022)227-8875 |
| 東京事業所 | 〒104 東京都中央区京橋3-3-8 | TEL:(03)3273-0231 |
| 中部事業所 | 〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5 | TEL:(052)824-3191 |
| 関西事業所 | 〒542 大阪市中央区南船場3-12-22 | TEL:(06) 252-5325 |
| 中国事業所 | 〒730 広島市中区胡町4-28 | TEL:(082)240-3761 |
| 四国事業所 | 〒760 高松市寿町1-1-5 | TEL:(0878)51-7341 |
| 九州事業所 | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1 | TEL:(092)431-3775 |
| 沖縄事業所 | 〒900 那覇市泊3-1-2 | TEL:(0988)68-4511 |
| 本社お客様相談室 | 〒467 名古屋市瑞穂区苗代町15-1 | TEL:(052)824-3125 |

- ◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。
- ※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467

TEL:(052)824-2511(代表)